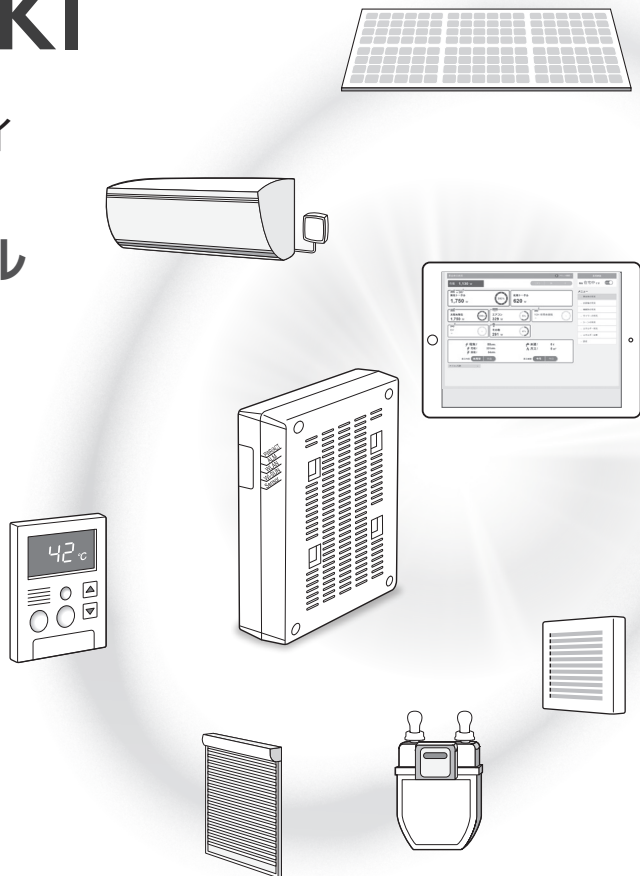


ホームゲートウェイ RNU-216M 施工マニュアル

要保存



- 施工前に必ず本書をお読みください。
- この説明書は、別紙「ご使用にあたっての注意事項」とともに必ずお客様にお渡しください。

本書に掲載されている画面・機能について

- 本書では、代表的な画面例を使用して基本的な操作方法を説明しています。実際にご使用いただくシステムとは、画面の表示、メニュー名、機能名、使用できる項目、設定などが異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 実際の画面表示は画面のサイズによって最適な表示になるように設計されていますので、本書記載の表示の内容とは若干異なる場合があります。
- 本書に記載しているイラストは一部省略するなど、実際の表示とは異なる場合があります。
- 使用可能な機能、入力・設定可能な項目、入力・設定が必須の項目などについては、実際にご利用いただくシステムの画面表示を参照してください。



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示の意味

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※ ¹ ）を負う可能性が想定される場合を示します。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※ ² ）を負うことが想定されるか、または物的損害（※ ³ ）の発生が想定される場合を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

記号は次の意味を表しています。



してはいけないこと



必ずすること

図の中や近傍に具体的な指示内容や禁止内容が表記されることがあります。



警告



プラグ
を抜く

使用中に以下のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- ・ 煙が出ていたり、においがするとき
- ・ 内部に水や異物が入ってしまったとき
- ・ 製品を落としたり、製品が破損したとき

すぐに電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。使用を続けると、火災、やけど、感電の原因になります。



指示

AC100V 50/60Hzの電源電圧で使用する。

上記以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因になります。



改造
禁止

分解や改造をしたり、カバーを外さない。

火災や感電の原因になります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手でACアダプターをコンセントから抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

内部に異物を入れない。

金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因になります。



禁止

ACアダプターやACアダプターケーブルが破損するようなことはしない。

加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、熱器具に近づけたり、家具などの重いものをのせないでください。傷んだものを使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

水や湯気がかかる場所には設置しない。

感電や故障の原因になります。



禁止

引火性のガスが発生する場所に設置しない。

爆発、火災の原因になります。



注意



指示

ACアダプターをコンセントから抜くときは、ACアダプターケーブルを引っ張らずにACアダプターを持って引き抜く。

コードに傷がつき、火災や感電の原因になることがあります。



プラグ
を抜く

長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。



禁止

ACアダプターやACアダプターケーブルに異常があるときは、使用をやめる。

以下のような場合には、使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ・ ACアダプターやACアダプターケーブルが異常に熱くなる
- ・ コンセントに差し込んだときにACアダプターがゆるく、ぐらつく



禁止

熱器具のそばや直射日光のあたる場所には置かない。

故障や発熱の原因になります。



禁止

付属のACアダプターケーブル以外は使用しない。

火災や感電の原因になることがあります。



指示

ACアダプターは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全だと、発熱したり、ほこりが付着して火災や感電の原因になります。



禁止

通風口をふさがない。

内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。



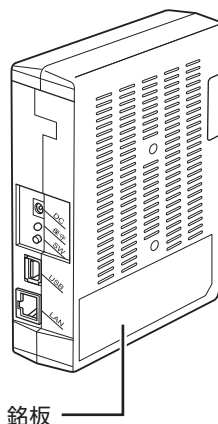
指示

動作中のPLCアダプターとIR発光器は熱くなることがあるので、移動などで触れるときは注意する。

やけどの原因になります。

設置時の注意

- 落下させたり、物をぶつけたりして本体に衝撃を与えないでください。
- 特殊雰囲気下（有機溶剤や油蒸気が当たる場所、過度な湿度になる場所など）で使用しないでください。
- 過度な振動や衝撃を受ける場所に設置しないでください。
- 直射日光下で使用しないでください。
- 屋外に設置しないでください。
- 銘板は汚さないようにしてください。
- USBポートはセンサー受信用モジュール専用です。
- LANコネクタにはLANケーブル以外挿入しないでください。
- 製品に触れるときは、ドアノブなど身近な金属に触って、体から静電気を取り除いてください。故障の原因になることがあります。



お手入れ時の注意

ベンジンなどの薬品を使用せず、柔らかい布で乾拭きしてください。変色や変形の原因になることがあります。

推奨ブラウザ

推奨ブラウザ以外の場合は、本来の意図と異なった表示になる場合がございます。

- Microsoft Edge 100以上
- Windows版Google Chrome 100以上
- iOS 14、15 iPhone、iPad標準ブラウザ
- Android 9以上 Android標準ブラウザ

お願い

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載・無断複写することは固くお断ります。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または、販売店以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた傷害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品を廃棄する場合には、お住まいの地方自治体の廃棄処分方法に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。
- 接続機器については、製品付属の説明書をご覧ください。
- 本製品の故障・誤動作・天災・不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 経年劣化により変色することがありますが、ご使用に問題はありません。



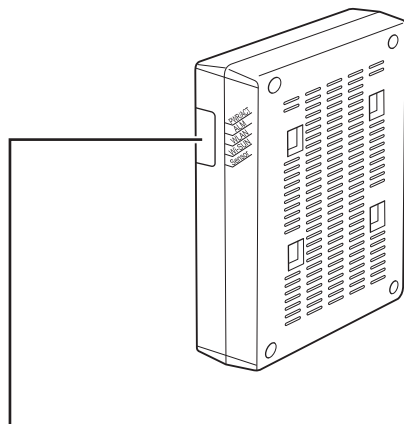
安全上のご注意	2
各部の名称と同梱品	7
施工全体イメージ図	12
施工フロー	14
本製品を設置する	16
赤外線通信機器を設置する	19
Step 1 PLC アダプターとIR 発光器を設置する	20
Step 2 PLC アダプターとIR 発光器をペアリングする	23
初期設定をする	26
Step 1 初期設定用のPC 機器などを接続する	26
Step 2 [施工設定] 画面を表示する	30
Step 3 [時刻設定] をする	31
Step 4 [所在地設定] をする	33
Step 5 [電気買取設定] をする	34
Step 6 [世帯管理設定] をする	35
Step 7 [機器登録] をする	37
Step 8 [機器設定] をする	54
Step 9 [料金設定] をする	61
Step 10 [施工完了設定] をする	63
接続を確認する	67
Step 1 [状態確認] 画面を見る	68
Step 2 動作確認をする	71
ルーターを設定する	73
エラーコード一覧	76
トラブルシューティング	84
仕様	85



各部の名称と同梱品

■ ホームゲートウェイ本体×1

<本体正面>



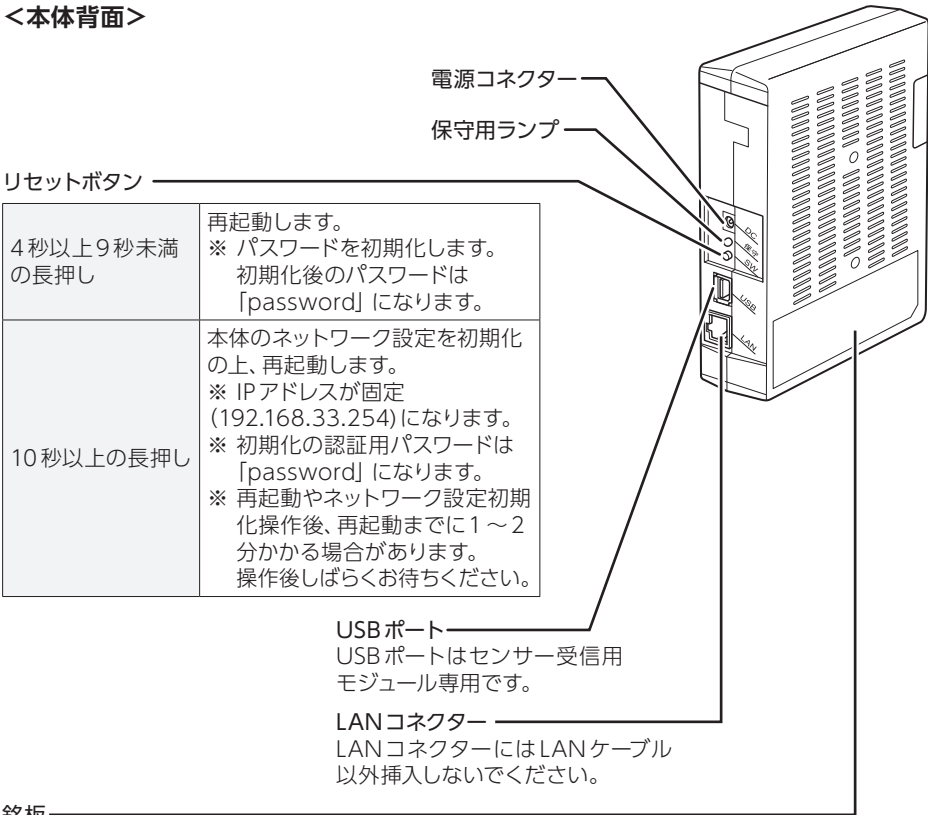
LEDランプ

LED 名称	色	状態	説明
PWR/ACT	緑	点灯	アプリケーションが動作中
		点滅	DHCP サーバ機能動作中※
ALM	赤	点灯	本書「エラーコード一覧」を参照
WLAN	緑	消灯	無線 LAN が無効になっている
		点灯	無線 LAN が接続されている (有効になっている)
Wi-SUN	緑	消灯	Wi-SUN 接続がない
		点灯	Wi-SUN 接続がある (認証完了)
Sensor	緑	消灯	センサーの登録がない
		点灯	センサーの登録が 1 台以上ある

※ ホームゲートウェイと同じネットワークに接続されている機器に IP アドレスを払い出す機能です。「ネットワーク本体設定」で「ルーターをお持ちの方」の設定を行うまで点滅します。

各部の名称と同梱品

<本体背面>



銘板



入力文字サンプル

大文字: ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

小文字: abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

数字: 0123456789

名称	説明
形名	本製品の形名です。
電源	本製品の電源電圧です。
SSID	アクセスポイントの識別子です。
PASS	本製品に無線接続するためのパスワードです。
MACアドレス(LAN)	有線LANのMACアドレスです。
MACアドレス(WLAN)	無線LANのMACアドレスです。
S / N	本製品の製造番号です。



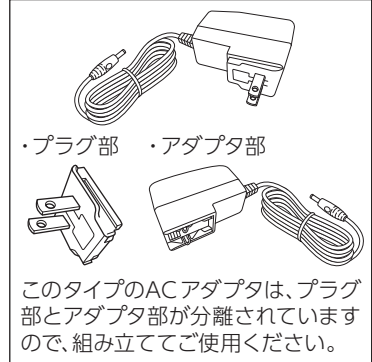
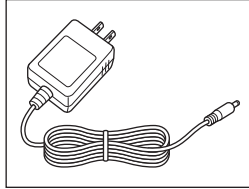
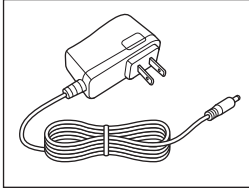
ご注意

以下の文字は非常に似てい
ますので、ご注意ください。

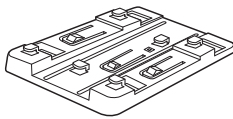
大文字のI(アイ)	I
小文字のl(エル)	l
数字の1	1
大文字のO(オー)	O
小文字のo(オー)	o
数字の0(ゼロ)	0

■ ACアダプター×1

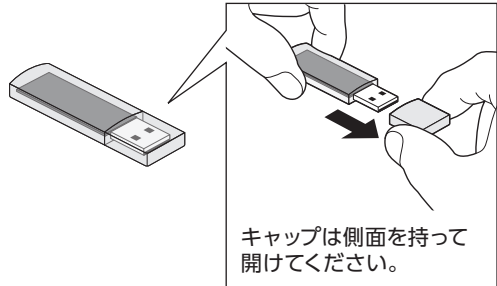
製品により以下のいずれかが同梱されます。



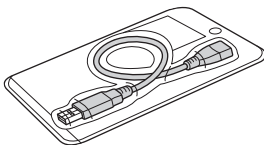
■ スタンド×1



■ センサー受信用モジュール
(USB Dongle) × 1



■ USB延長ケーブル(30cm) × 1



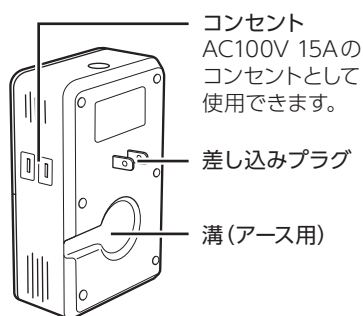
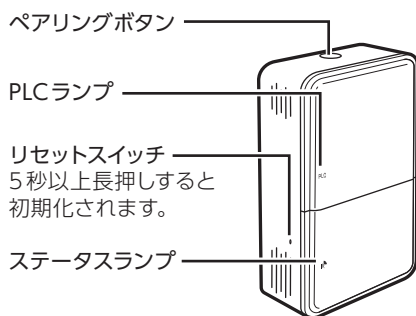
■ 施工説明書(本書) × 1



オプション

■ IR 発光器×1

赤外線通信をおこないます。

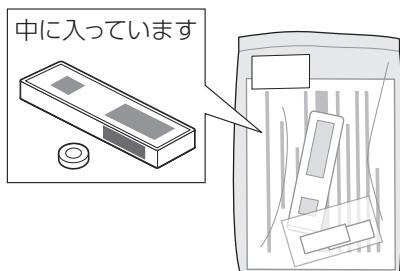


ランプについて

ランプ	色	状態	説明
PLC ランプ	緑	点灯	電源を入れて起動が終了するまで
	—	消灯	PLC 通信接続中 (リンク中)
	緑	最大 10 秒間点滅	未ペアリング状態
ステータスランプ	オレンジ	点灯	ペアリング待機中
	—	消灯	学習中
	オレンジ	1 秒間点灯	学習完了または学習時間切れ 制御中

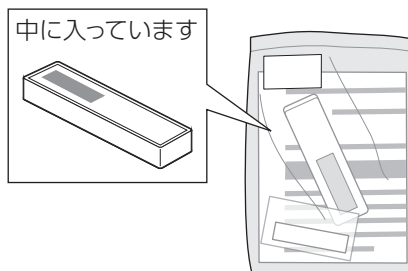
■ 開閉センサー(マグネット)×1

(アイテック株式会社製「あけしめセンサー」)



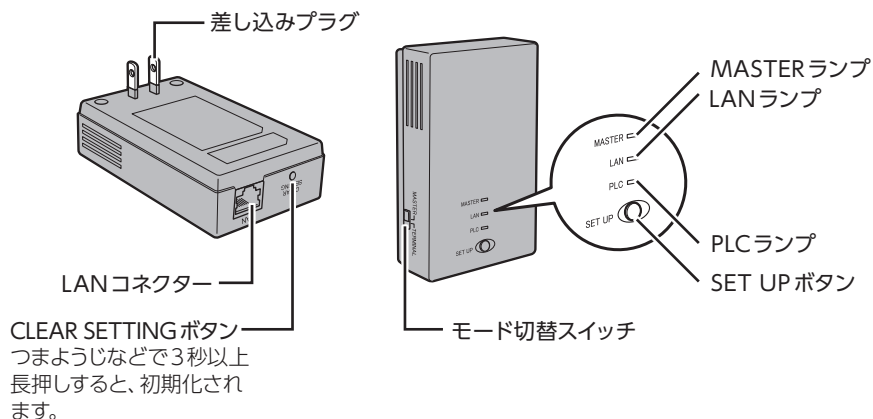
■ 温湿度センサー×1

(アイテック株式会社製)



■ PLCアダプター

LANとIR発光器の通信を変換します。

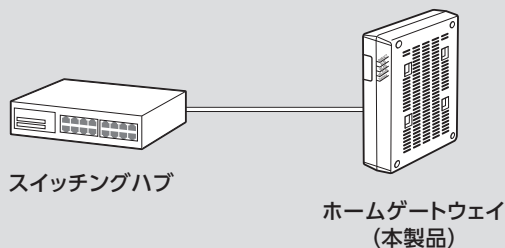


ランプについて

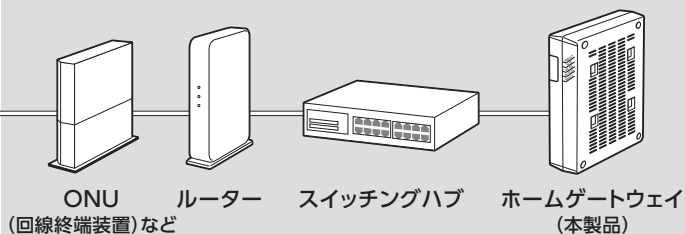
ランプ	色	状態	説明
MASTER	緑	点灯	通常時
		10秒間点滅	IR発光器登録中
LAN	緑	点灯	ネットワーク機器接続済み
		点滅	通信中
	オレンジ	点灯	ネットワーク機器未接続 ネットワーク機器の電源未投入
PLC	緑	点灯	PLC通信に接続
		点滅	IR発光器登録中
		5秒ごと点滅	PLC通信する機器を探索中
	赤	5秒間点灯	IR発光器登録失敗
		点灯	故障(販売店までご連絡ください)
	—	消灯	IR発光器未登録

施工全体イメージ図

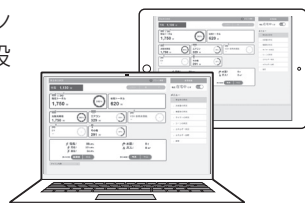
● ルーターを設置しない場合の接続例



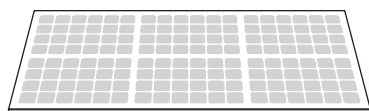
● ルーターを設置する場合の接続例



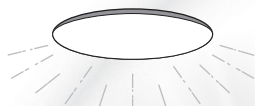
ユーザーはネットワーク経由で、パソコンやモバイル機器で各種情報を見たり、設定をすることができます。



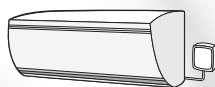
● HEMS対応機器



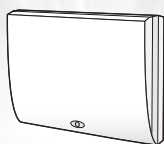
太陽光パネル



照明



エアコン



分電盤



換気システム



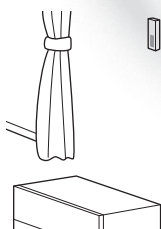
電動シャッター



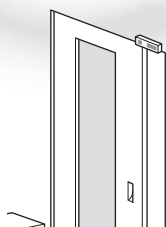
浴室リモコン



IR発光器



温湿度センサー

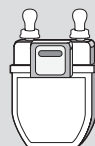


開閉センサー

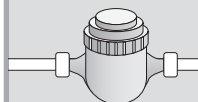


PLCアダプター

ガスメーター



水道メーター



施工フロー

ECHONET Lite 機器など、ホームゲートウェイと
接続する各機器を確認する



本製品を設置する (16 ページ)



IR 発光器、PLC アダプターが同梱されている場合のみ

赤外線通信機器を設置する (19 ページ)



初期設定をする (26 ページ)

Step 1	初期設定用の PC 機器などを接続する	→ 26 ページ
Step 2	[施工設定] 画面を表示する	→ 30 ページ
Step 3	[時刻設定] をする	→ 31 ページ
Step 4	[所在地設定] をする	→ 33 ページ
Step 5	[電気買取設定] をする	→ 34 ページ
Step 6	[世帯管理設定] をする	→ 35 ページ
Step 7	[機器登録] をする (分電盤などの接続機器)	→ 37 ページ
Step 8	[機器設定] をする	→ 54 ページ
Step 9	[料金設定] をする	→ 61 ページ
Step 10	[施工完了設定] をする	→ 63 ページ





接続を確認する (67ページ)

Step 1 [状態確認] 画面を見る → 68ページ

Step 2 動作確認をする → 71ページ



ルーターをお持ちの場合、

ルーターを接続する (73ページ)



本製品を設置する

本製品は情報分電盤などスイッチングハブやルーターがある場所の近くに設置することをおすすめします。

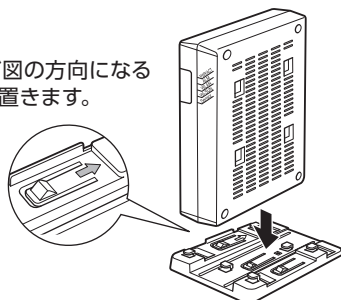
お願い ・開閉センサー、温湿度センサーを設置する場合は、環境によってセンサーの情報を取得できないことがあります。
この場合は、情報分電盤の中ではなく、センサーからのデータを取得できる場所に設置することをおすすめします。
(下記の＜縦置きする場合＞をご参照ください。)

■ スタンドの取り付け方法

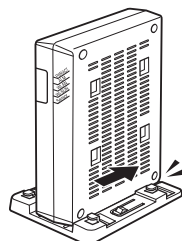
＜縦置きする場合＞

① 本製品にスタンドを図の向きで取り付けます。

矢印が図の方向になるように置きます。



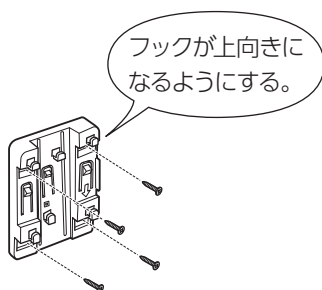
② 本製品を図の向きにスライドさせて固定する。



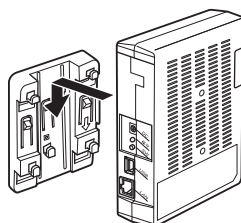
縦置きする場合は、本製品が倒れないよう設置してください。

＜壁面に取付ける場合＞

① 壁にスタンドを4箇所ネジ止めする。

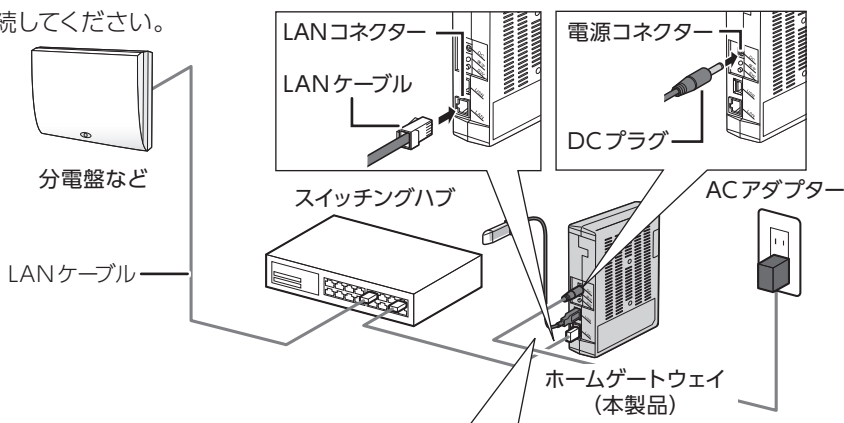


② 本製品をスタンドのフックに掛け、下にスライドさせて固定します。



■ 接続例 (情報分電盤の木板取付を基本とする)

図のようにLANケーブルでスイッチングハブと接続し、ACアダプターでコンセントに接続してください。

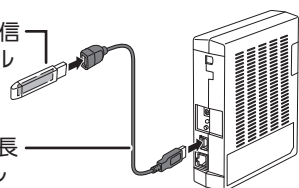


USBポートに、付属のUSB延長ケーブルを使って、センサー受信用モジュール (USB Dongle) を差し込みます。

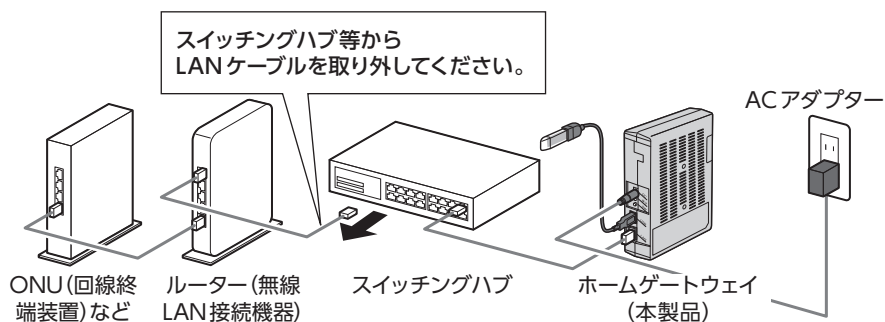
※ センサー感度が悪い場合は、USB Dongleを本体から離すように向けてください。

センサー受信
用モジュール

USB延長
ケーブル



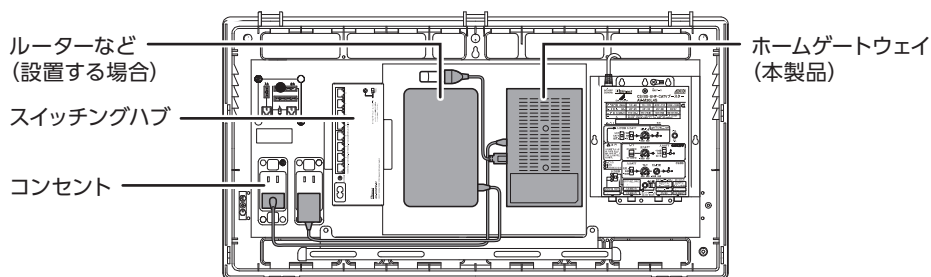
⚠️ すでにインターネット環境がある場合の注意



初めてホームゲートウェイを設置する場合で、インターネット環境がすでにあるときには、LANケーブルを取り外し、ルーターがない環境で設置をしてください。先にルーターが設定されているとIPアドレスが取得できない可能性があります。

上記方法をおこなっても機器登録ができない場合には、接続されているECHONET Lite 機器、JEM-A 機器の電源を入り切りしてください。

<情報分電盤の取り付け例>



ヒント

- ・本製品以外の機器の据付については、各機器の据付要領書を参照してください。



ご注意

動作不良や故障の原因になる恐れがあるため、以下のような場所には設置しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 暖房機器の近くなど、温度が高くなる場所
- 温度変化の激しい場所
- ほこりの多い場所
- 調理台の近くなど、水・水蒸気・油などがかかる場所
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所
- 振動の多い場所
- 冷蔵庫やTVなど、ノイズ源となる可能性のある機器が近くにある場所
- 浴室の近くなど、湿度が高くなる場所



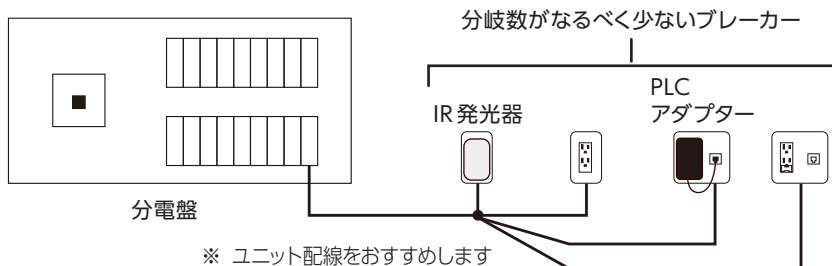
赤外線通信機器を設置する

IR 発光器、PLC アダプターの場合

オプションの IR 発光器および PLC アダプターを使用する場合は次の手順で設置します。

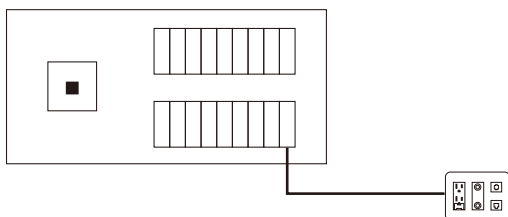
■ PLC アダプターの推奨設置場所

設置した IR 発光器と同じ分岐ブレーカーで、分岐が少ないコンセントに設置してください。

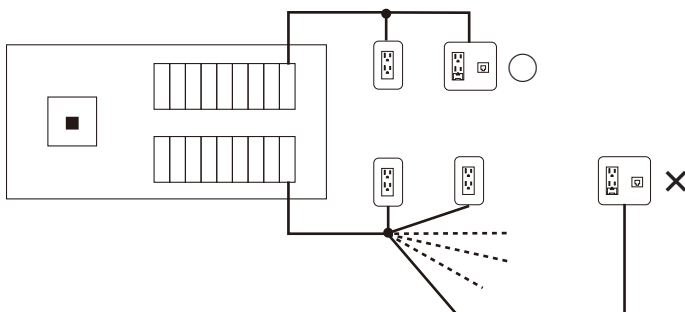


PLC アダプターを IR 発光器と同じブレーカーに設置できない場合

- エアコン用コンセントのように、なるべく分岐ブレーカーから分岐がなく配線されている専用コンセントに設置してください。



- 分岐がある分岐ブレーカーに設置する場合は、なるべく分岐数が少ない分岐ブレーカーに接続されているコンセントに設置してください。
また、なるべく分岐ブレーカーに近いコンセントに設置してください。



Step 1 PLCアダプターとIR発光器を設置する

部屋の壁に設置されたコンセントに設置し直します。

PLCアダプター1台で、IR発光器を8台まで接続することができます。ペアリングは1台ずつが必要です。



重要

- 設置するコンセントと、設置したコンセントの利用に関する条件を、必ずご確認ください(→21ページ)。

1

PLCアダプターを以下のように設置します。

① モード切替スイッチが「MASTER」になっていることを確認します。

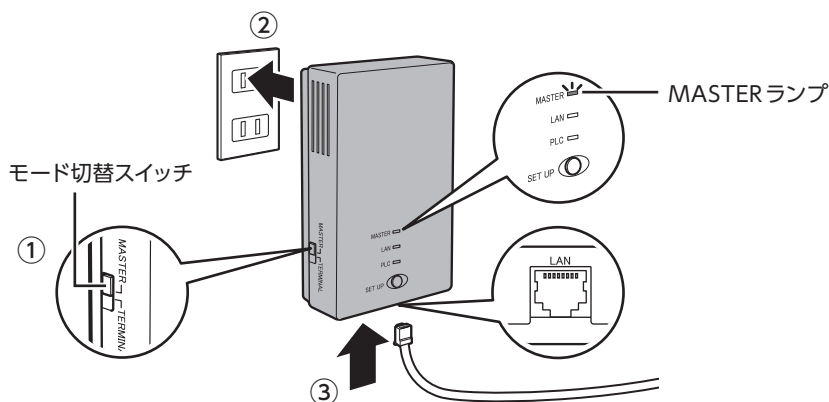
② PLCアダプターの差し込みプラグを、コンセントに差し込みます。

差し込みプラグにほこりや可燃物が付かないように、根元までしっかり差し込んでください。

差し込みプラグをコンセントに差し込むと、MASTERランプが緑色に点灯します。

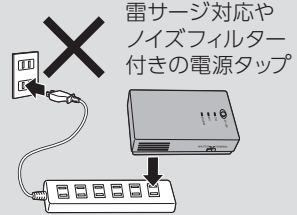
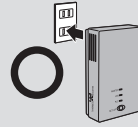
③ PLCアダプターのLANコネクターにLANケーブルを接続します。

④ LANケーブルのもう一方の側を、部屋のLANコネクターに接続します。



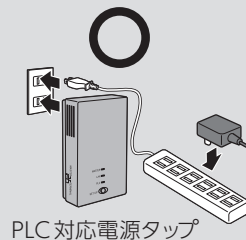
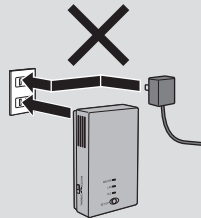
！ 重要

- 壁のコンセントへの設置をおすすめします。
- PLCアダプターと同じコンセントに、高い電力を消費する電化製品は接続しないでください。
- PLCアダプターを電源タップ（テーブルタップ）に接続する場合は、壁のコンセントに接続したPLC対応電源タップをご利用ください。
- 雷サージ対応やノイズフィルター付きの電源タップは使用しないでください。



- 次のような電気ノイズを発生しやすい電化製品は、PLC対応電源タップでのご利用をおすすめします。

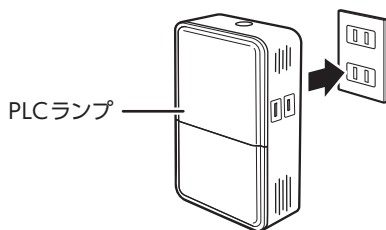
充電器、ACアダプター、調光機能付き照明 など



2 IR 発光器の差し込みプラグを壁面のコンセントに差し込みます。

IR 発光器は、制御する IR 機器に赤外線が十分に届く位置に設定してください。IR 発光器の側面のコンセント容量は 15A です。

差し込む機器にアース線がある場合には、アース線が IR 発光器とコンセントの間でつぶれないように、IR 発光器の差し込みプラグ側にあるくぼみの部分に通します。



差し込みプラグにほこりや可燃物につかないように、根元までしっかり差し込んでください。

コンセントに接続すると、IR 発光器の PLC ランプが点灯します。



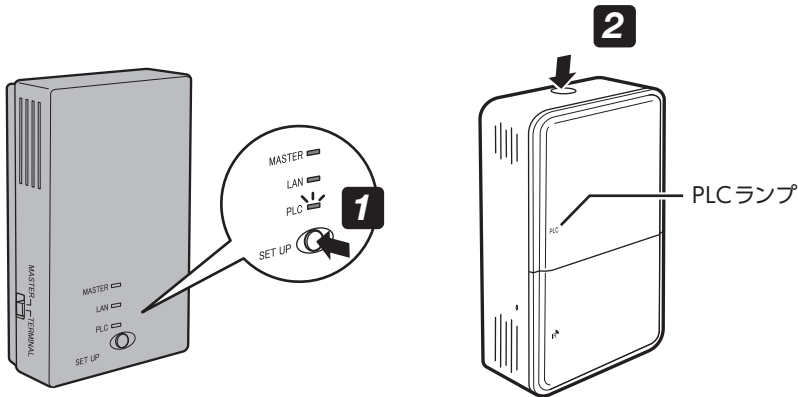
ヒント

- IR 発光器側面にあるコンセントは、AC100V 15A のコンセントとして使用できます。

Step2

PLCアダプターとIR発光器を ペアリングする

ペアリングをおこなうと、PLCアダプターとIR発光器が通信できるようになります。



1 PLCアダプターのSET UPボタンを1秒間押します。

PLCアダプターのPLCランプが緑色に点滅します。

2 手順1から20秒以内に、IR発光器のペアリングボタンを1秒間押します。

PLCアダプターとIR発光器のPLCランプが緑色に点灯したらペアリング成功です。

！ ご注意

- ペアリングボタンを3秒以上長押しすると、ペアリングが解除されてしまう可能性があります。



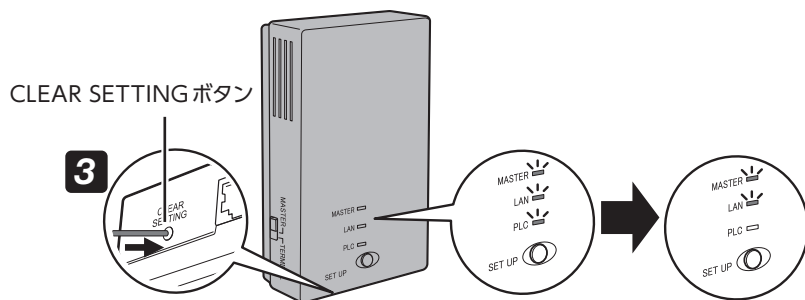
ヒント

- ペアリングができなかった場合は、PLCアダプターとIR発光器を初期化した後、ペアリングし直してください。

■ 初期化の方法

PLCアダプタ

- ① 底面にある CLEAR SETTING ボタンをつまようじなどで3秒以上長押しします。

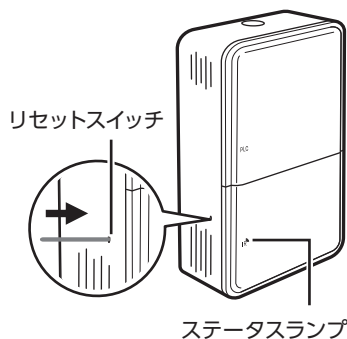


- ② ランプがすべて点滅したら、CLEAR SETTING ボタンを離します。
PLCランプが消灯し、MASTERランプとLANランプが点灯します。

IR 発行器

- ① 左側面にあるリセットスイッチを、つまようじなどでカチッと音がするまで押し込み、5秒以上長押しします。

初期化に成功すると、ステータスランプが約1秒間オレンジ色に点灯します。



! ご注意

- ・初期化が終わっても、30秒間はコンセントから外さないでください。

■ ランプについて

IR 発光器

ランプ	色	状態	説明
PLC ランプ	緑	点灯	電源を入れて起動が終了するまで
	—	消灯	PLC 通信接続中 (リンク中)
	緑	最大 10 秒間点滅	未ペアリング状態
ステータスランプ	オレンジ	点灯	ペアリング待機中
	—	消灯	学習中
	オレンジ	1 秒間点灯	学習完了または学習時間切れ
			制御中

PLC アダプター

ランプ	色	状態	説明
MASTER	緑	点灯	通常時
		10 秒間点滅	IR 発光器登録中
LAN	緑	点灯	ネットワーク機器接続済み
		点滅	通信中
	オレンジ	点灯	ネットワーク機器未接続 ネットワーク機器の電源未投入
PLC	緑	点灯	ネットワーク機器未接続 ネットワーク機器の電源未投入
		点滅	PLC 通信に接続
		5 秒ごと点滅	IR 発光器登録中
	赤	5 秒間点灯	PLC 通信する機器を探索中
		点灯	IR 発光器登録失敗
	—	消灯	故障 (販売店までご連絡ください) IR 発光器未登録

■ PLC アダプターを中継器として使用する

- ① 別途用意した PLC アダプターのモード切替スイッチ (11 ページ) を「TERMINAL」に切り替えます。
- ② PLC アダプター (MASTER) とペアリングさせます。
- ③ ペアリングした PLC アダプター (TERMINAL) を通信が確立できる場所 (壁コンセント) に設置します。



初期設定をする



ご注意

・初期設定は、本製品と連携させる各機器の施工、設定が完了していることを確認してからおこなってください。

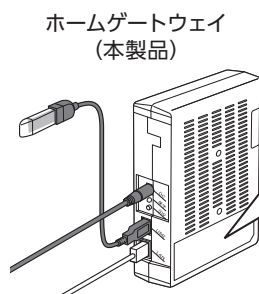
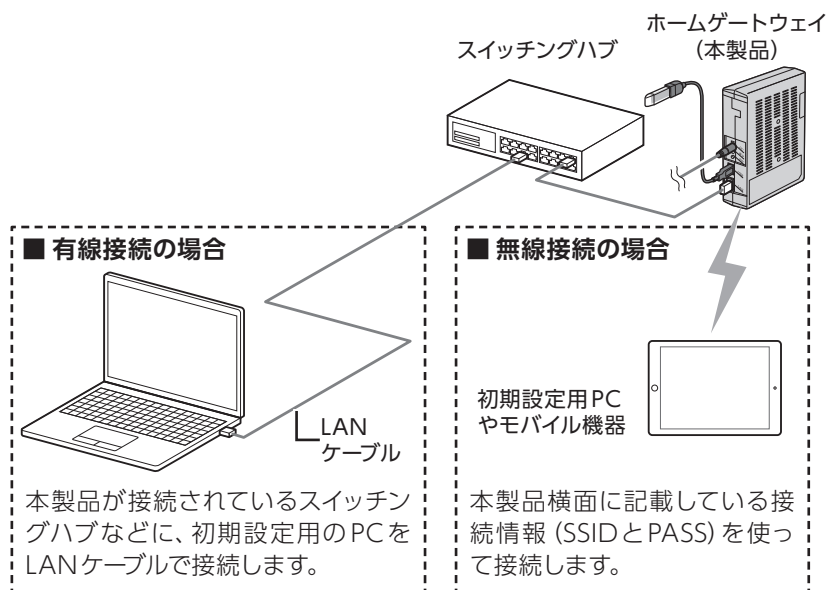
Step 1

初期設定用のPC機器などを接続する



ご注意

・初期設定用のPCはIPアドレス自動取得設定で接続してください。



銘板に接続情報が記載されています。



名称	説明
SSID	アクセスポイントの識別子です。
PASS	本製品に無線接続するためのパスワードです。



ご注意

・PASSに記載されている文字は8ページ「入力文字サンプル」をご参照ください。

iOS の場合の接続方法

※ iOS のバージョンにより若干表記や操作方法が異なる場合があります。

- ① ホーム画面の[設定]アイコンをタップします。



- ② 設定メニューから[Wi-Fi]をタップします。



- ③ 銘板に記載されている「SSID」名と同じ名前の接続先を一覧から選択し、タップします。



- ④ 銘板に記載されている「PASS」を入力し、[接続]をタップします。



- ⑤ SSID名の左横にチェックマークがつけば接続成功です。



ヒント

- チェックマークが表示されない場合でも接続できている場合があります。

SSID右横の ⓘ をタップして表示される[IPアドレス]が「192.168.33.**」と表示されていれば接続できています。

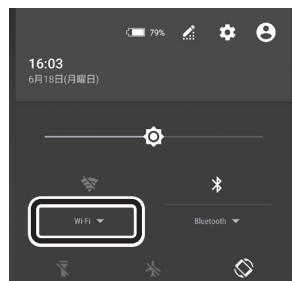
(「**」には1から255までの数字が入ります)



Android の場合の無線接続方法

※ AndroidOS のバージョンにより若干表記や操作方法が異なる場合があります。

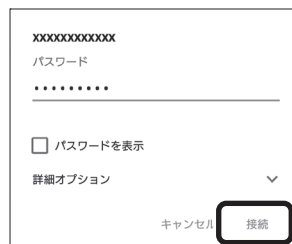
- ① 画面上部から下方向にスワイプしてメニューを表示させ、[Wi-Fi ▼] をタップします。



- ② 銘板に記載されている「SSID」名と同じ名前の接続先を一覧から選択し、タップします。



- ③ 銘板に記載されている「PASS」を入力し、[接続] をタップします。



- ④ 「接続されました」と表示されたら、接続成功です。



ヒント

- チェックマークが表示されない場合でも接続できている場合があります。

画面右上の ⓘ をタップ→[設定]または[詳細設定]をタップ→表示される画面で、[IP アドレス]が「192.168.33.**」と表示されていれば接続できています。

(「**」には1から255までの数字が入ります)

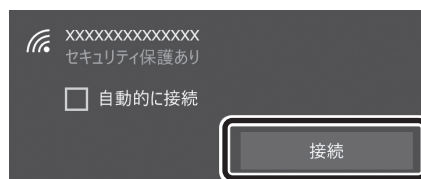


Windows11 の場合の無線接続方法

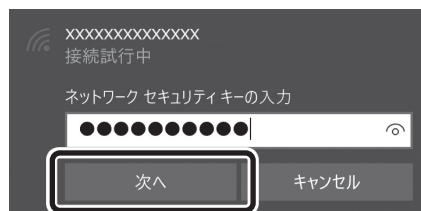
- ① 画面右下のタスクトレイにある無線アイコンをクリックします。



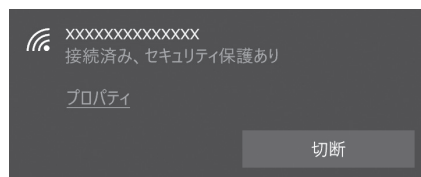
- ② 銘板に記載されている「SSID」名と同じ名前の接続先を一覧から選択し、[接続] をクリックします。



- ③ 銘板に記載されている「PASS」を入力し、[次へ] をクリックします。



- ④ 「接続済み」と表示されたら、接続成功です。



ヒント

- 接続が成功すると、エクスプローラー画面で[ネットワーク]をクリックしたときに、[HGW]のアイコンが表示されます。アイコンをダブルクリックするとブラウザが立ち上がり、認証画面に移行することができます。

Step2

[施工設定] 画面を表示する

- 1
- 初期設定用のPCまたはモバイル機器でWebブラウザ (Microsoft Edge、Google Chrome など) を起動して、アドレスバーに「<http://192.168.33.254/>」と入力し、Enter キーを押します。



施工設定画面が表示されます。
次ステップ以降で [施工設定 必須] の項目を順番に設定していきます。

本体情報

バージョン情報

機器ID

WPS

XX.XX.XX

XXXXXXXXXXXX

WPS

施工設定 必須

時刻設定

所在地設定

電気買取設定

世帯管理設定

機器登録

機器設定

料金設定

施工完了設定

施工設定 任意

エリア設定

動作確認

涼風制御設定

防犯アラート設定

ネットワーク設定

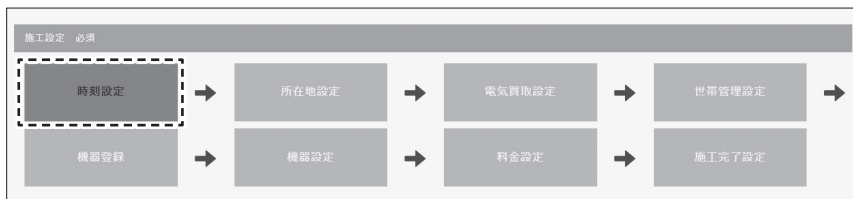
システム設定

本体情報	バージョン情報	本製品のバージョンが表示されます。
	機器 ID	本製品の MAC アドレスが表示されます。
	WPS	本製品と WPS 対応の機器を接続するときに使用します。
施工設定 必須	初期設定に必要な設定項目です。	
施工設定 任意	任意で設定します。初期設定後も設定することが可能です。	

Step3 [時刻設定] をする

本製品の日付と時刻を設定します。

1 [施工設定 必須] 項目の[時刻設定]を選択します。



[時刻設定] 画面が表示されます。

2 [手動時刻設定] の[編集]を選択し、[現在時刻]を設定します。

時刻設定

通常の運用時は自動時刻設定を「使用する」にしてください。
手動で時刻を設定する場合は、編集ボタンを押して現在時刻を設定した後に、決定ボタンを押してください。
時刻を変更すると使用電力量や太陽光発電量などの集計時間に影響がでます。

手動時刻設定

編集

現在時刻

2017 年 05 月 08 日

04 時 19 分

自動時刻設定

自動時刻設定

使用する

NTPサーバー名

ntp.nict.jp

戻る

決定

「施工設定」で行う場合は表示されません。

手動時刻設定	手動で時刻を設定します。	
自動時刻設定	自動時刻設定	NTPサーバーから自動で時刻を取得します。
	NTPサーバー名	NTPサーバー名を設定します。 デフォルトはntp.nict.jpです。

! **ご注意**

- 正しい時刻を設定してください。誤った時刻を設定した場合、動作に支障が出る場合があります。

3 **[決定]を選択します。**

4 確認ダイアログボックスが表示されますので、**[OK]を選択します。**

[施工設定]画面に戻ります。

! **ご注意**

- 「自動時刻設定」を「使用する」に設定するのは、ホームゲートウェイがインターネットに接続されている場合だけにしてください。



自動時刻設定

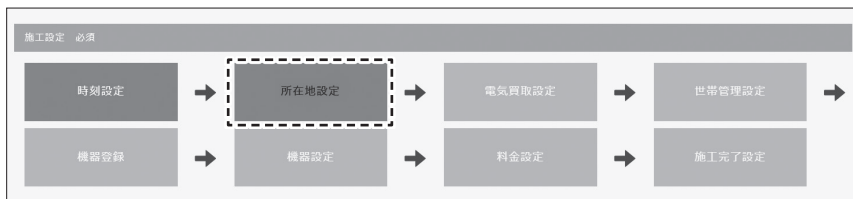
自動時刻設定

NTPサーバー名

Step4 [所在地設定]をする

本製品を使用する地域の都道府県、郵便番号を設定します。

1 [施工設定 必須] 項目の[所在地設定]を選択します。



2 [所在地設定] 画面が表示されますので、プルダウンメニューから[都道府県]を選び、[郵便番号]を入力します。

! ご注意

- 正確なデータを取得するため、必ず正しい都道府県、郵便番号を入力してください。

3 [決定]を選択します。

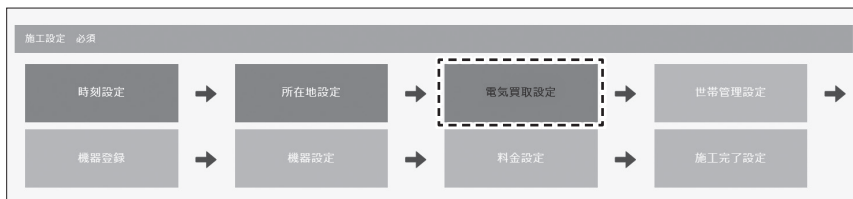
4 確認ダイアログボックスが表示されますので、[OK]を選択します。

[施工設定]画面に戻ります。

Step5 [電気買取設定] をする

電気買取モードを設定します。

1 [施工設定 必須] 項目の[電気買取設定]を選択します。



2 [電気買取モード設定] 画面が表示されますので、
[電気買取モード]を設定します。

電気買取設定

全額買取 全額買取

戻る 決定

3 [決定]を選択します。

4 確認ダイアログボックスが表示されますので、
[OK]を選択します。

[施工設定] 画面に戻ります。

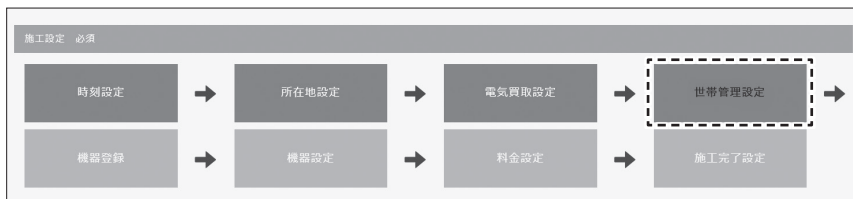
！ ご注意

- 正確なエネルギーデータを計測するため、必ず正しい電気買取モードを設定してください。

Step6 [世帯管理設定]をする

世帯管理モードを設定します。

1 [施工設定 必須] 項目の[世帯管理設定]を選択します。



2 [世帯管理設定] 画面が表示されますので、
[世帯管理機能有効無効設定]を設定し、[決定]を選択します。

世帯管理設定

世帯管理機能有効無効設定 無効 有効

戻る 決定 Skip

あとで設定する場合は[Skip]を選択します。

初期設定をする

[有効]を選択すると、次の画面が表示されますので、設定し、[決定]を選択します。

世帯管理設定

世帯管理機能有効無効設定

無効

有効

世帯（全体）

世帯共通の名称を入力してください

世帯 1

世帯 1 の名称を入力してください

世帯 2

世帯 2 の名称を入力してください

戻る

決定

Skip

世帯管理機能有効無効設定	[有効]に設定すると、機器を世帯別に分けて管理できるようになります。
世帯(全体)	世帯全体を表す名称を設定します。
世帯 1 ／世帯 2	それぞれの世帯に名称を設定します。

- 3

確認ダイアログボックスが表示されますので、
[OK]を選択します。
[施工設定]画面に戻ります。

Step 7 [機器登録]をする

本製品と連携させる各機器を登録します。

！ ご注意

- 機器登録作業を始める前に、登録する機器の台数、種類(ECHONET LiteやJEM-A対応機器など)を把握し、メモをしてください。
メモがないと、登録作業時に、機器が画面上に表示されない場合などに、登録漏れをする恐れがあります。

1 本製品に登録する機器やIP/JEM-A変換アダプターを同じネットワークに接続します。

<無線接続対応機器の場合>

- ① [施工設定]画面の本体情報から[WPS]を選択します。

- ② 確認ダイアログボックスが表示されますので、[OK]を選択します。
- ③ 約2分以内に、無線接続対応機器側でWPSの接続操作をおこないます。
 - WPS機能がない機器の場合は、本機のSSIDとパスワードで本機に接続してください(接続方法は各機器の取扱説明書をご確認ください)。



ヒント

- 機器により、接続操作が異なります。詳細は、接続する機器の取扱説明書を参照してください。



ご注意

- 無線 LAN で接続する場合は、2.4GHz 帯で接続してください。

<有線機器の場合>

LAN ケーブルで各部屋の LAN コネクタに接続します。

2

[施工設定 必須] 項目の [機器登録] を選択します。

本体情報

バージョン情報

機器ID

WPS

XX.XX.XX

XXXXXXXXXXXX

WPS

施工設定 必須

時刻設定

所在地設定

電気買取設定

世帯管理設定

機器登録

機器設定

料金設定

施工完了設定

施工設定 任意

エリア設定

動作確認

涼風制御設定

防犯アラート設定

ネットワーク設定

システム設定

3 [機器登録]画面が表示されますので、 各機器を順番に選択して登録します。

機器登録 必須

1 ECHONET Lite機器 → 2 JEM-A機器 → 3 IR発光器 → 4 IR機器 →

5 スマートメーター → 6 センサー

機器変更 任意

ECHONET Lite機器 JEM-A機器 IR発光器 IR機器

スマートメーター センサー

機器一覧・削除 任意

ECHONET Lite機器 JEM-A機器 IR発光器 IR機器

スマートメーター センサー

戻る

1	[ECHONET Lite 機器] を登録する	→ 41 ページ
2	[JEM-A] を登録する	→ 45 ページ
3	[IR 発光器] を登録する	→ 46 ページ
4	[IR 機器] を登録する	→ 47 ページ
5	[スマートメーター] を登録する	→ 50 ページ
6	[センサー] を登録する	→ 51 ページ

● 登録する機器がない場合

上記 1 ～ 6 の画面を選択した後、表示される [確認] 画面の [Skip] ボタンを選択して次の画面に進んでください。

確認

ECHONET Lite機器を取得します。
よろしいですか？

キャンセル 実行 Skip

初期設定後にも、各機器の登録は可能です。(→取扱説明書 設定編)



ヒント

各機器は以下の方法で接続されます。

機器	接続方法
ECHONET Lite 機器	LAN、無線 LAN
IP/JEM-A 機器	LAN、無線 LAN
IR 発光器	PLC
スマートメーター	WiSUN
センサー	EnOcean (USB ドングル)

1 [ECHONET Lite 機器] を登録する (ECHONET Lite 機器*接続時のみ)

表示される[確認]画面で[実行]を選択すると、接続されている機器の一覧リストが表示されますので、以下の項目を設定します。

あとで設定する場合は[Skip]を選択します。

※ECHONET Lite 機器とは、エコネットコンソーシアムにて策定された通信規格 ECHONET Lite に適合した機器です。接続機器を確認してから登録をおこなってください。

※機器によっては一覧表に表示されない場合があります。その場合は、ルーターを設置した後にもう一度ECHONET Lite 登録をし直してください。

ECHONET Lite 機器 登録

登録する機器のチェックボックスにチェックを入れて登録ボタンを押してください。
機器が取得する温度情報を屋外温度として表示することができます。
表示する場合は、「屋外温度センサー利用」にチェックを入れて(を選択して)ください。

検索結果

選択 ③	機器カテゴリ ①	表示名称	利用世帯	屋外温度 センサー 利用 ②	メーカー 識別番号 インスタンスコード：IPアドレス
☐	太陽光発電 (分電盤)	太陽光発電1	世帯1	☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 1: 192.168.33.188
☐	蓄電池 (分電盤)	蓄電池1	世帯1	☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 1: 192.168.33.188
☐	分電盤	分電盤1	世帯1	☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 1: 192.168.33.188
☐	燃料電池 (分電盤)	燃料電池1	世帯1	☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 1: 192.168.33.188
☐	水道メーター (分電盤)	水道メーター1	世帯1	☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 1: 192.168.33.188
☐	ガスメーター (分電盤)	ガスメーター1	世帯1	☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 1: 192.168.33.188

戻る 登録 Skip

分電盤は
ここで
設定します

① [表示名称] を設定します。

- ホームゲートウェイシステムの上で表示する名称を入力します。
- 設置場所や機器名称など、わかりやすい名称を設定してください。
- 登録した名称は[お部屋の状況]などの画面で表示されます。
- エアコンなど同じ機器カテゴリが何機種がある場合は、識別番号などを見て判別し、適切な名称を入力してください。機器に識別番号などの記載がなく、判別がつかない場合は、登録する機器のうち1つだけ電源を入れた状態で登録をしてください。

② 外気温度計測に対応しているエアコンが設置されている場合には、チェックボックスが有効になりますので、屋外温度センサーとして使用する場合は、[屋外温度センサー利用]にチェックを入れます。

③ 登録する機器にチェックを入れます。

- [水道メーター]および[ガスメーター]は、パナソニック製分電盤に搭載されているもの以外は登録しないでください。

④ [登録]を選択します。

- [確認]画面が表示されますので、[実行]を選択します。

メーカー 識別番号 インスタンスコード：IPアドレス	メーカー名、識別番号、ECHONET Liteのインスタンスコード、IPアドレスが表示されます。
-------------------------------	--

! ご注意

以下の機器は検索で表示された場合でも登録しないでください。

※ 太陽光発電と蓄電池を1つのパワーコンディショナでDC-AC変換するハイブリッド型のパワーコンディショナの場合、分電盤で計測するデータ(例[太陽光発電(分電盤)])とパワーコンディショナで計測するデータ(例[太陽光発電])の両方にチェックしてしまうと、計測データが重複(2倍)して計測されてしまいます。設備仕様を十分に確認してから設定してください。

● 分電盤+太陽光発電の場合

[太陽光発電(分電盤)]の方を選択します。

☒ 分電盤 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒ 太陽光発電 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☐ 太陽光発電		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

● 分電盤+ガス発電の場合

[燃料電池(分電盤)]の方を選択します。

☒ 分電盤 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒ 燃料電池 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☐ 燃料電池		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

● 分電盤+太陽光発電+ガス発電の場合

[太陽光発電(分電盤)]、[燃料電池(分電盤)]を選択します。

☒ 分電盤 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒ 太陽光発電 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒ 燃料電池 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☐ 太陽光発電		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☐ 燃料電池		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

●蓄電池を設置している場合

① 太陽光発電＋単機能蓄電池（太陽光と蓄電池が独立したシステム）を設置している場合

[太陽光発電(分電盤)]、[蓄電池] を選択します。

☐	太陽光発電		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒	太陽光発電 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☐	蓄電池 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒	蓄電池		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

② 太陽光発電＋ハイブリッド蓄電池(太陽光と蓄電池一体型システム)を設置している場合

[太陽光発電]、[蓄電池] を選択します。

☒	太陽光発電		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☐	太陽光発電 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☐	蓄電池 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒	蓄電池		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

ただし、太陽光発電用パワーコンディショナーを併設している場合は、
[太陽光発電(分電盤)] も選択します。

☒	太陽光発電		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒	太陽光発電 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☐	蓄電池 (分電盤)		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒	蓄電池		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

③ 大阪ガス3電池システム【太陽光発電+エネファーム（余剰電力買取）+蓄電池】を設置している場合

【太陽光発電（分電盤）】、【蓄電池（分電盤）】、【燃料電池（分電盤）】を選択します。

☐	太陽光発電		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒	太陽光発電 （分電盤）		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒	蓄電池 （分電盤）		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☐	蓄電池		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☐	燃料電池		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒	燃料電池 （分電盤）		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

④ V2Hシステムを設置している場合

【太陽光発電（分電盤）】、【V2H】を選択します。

☐	太陽光発電		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒	太陽光発電（分電盤）		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)
☒	V 2 H		xxxxxxxxxx株式会社 (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

登録が完了すると、【機器登録】画面に戻ります。
続いて【JEM-A】を選択します。

2 [JEM-A機器]を登録する (JEM-A 機器*接続時のみ)

表示される[確認]画面で[実行]を選択すると、接続されている機器の一覧リストが表示されますので、以下の項目を設定します。

※ JEM-A 機器とは、日本電機工業会規格 JEM1427 に適合した機器です。

接続機器を確認してから登録をおこなってください。

JEM-A 新規登録

登録する機器のチェックボックスにチェックを入れて登録ボタンを押してください。

検索結果

選択	機器カテゴリ	表示名称	利用世帯	メーカー 識別番号 インスタンスコード : IPアドレス
☐		未設定	世帯 1	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 1 : 192.168.33.181

戻る

登録

Skip

① [機器カテゴリ]をプルダウンメニューから選択します。

② [表示名称]を設定します。

ホームゲートウェイシステム上で表示する名称を入力します。
登録した名称は[お部屋の状況]などの画面で表示されます。



ヒント

- ・[表示名称]は設置場所や機器名称など、わかりやすい名称を設定します。
(例：リビング 電動シャッター)

③ 登録する機器にチェックを入れます。

④ [登録]を選択します。

メーカー 識別番号 インスタンスコード : IPアドレス	メーカー名、識別番号、ECHONET Lite のインスタ ンスコード、IP アドレスが表示されます。
---------------------------------	--

登録が完了すると、[機器登録]画面に戻ります。

続いて[IR 発光器]を選択します。

3 [IR 発光器] を登録する (IR 発光器接続時のみ)

表示される[確認]画面で[実行]を選択すると、IR 発光器が検索されますので、以下の項目を設定し、IR 発光器を登録します。(最大 8 台)

IR 発光器 新規登録

登録する機器のチェックボックスにチェックを入れて登録ボタンを押してください。

検索結果

選択	表示名称	利用世帯	識別番号
☐	未設定	世帯 1	XXXXXXXXXXXXXXXX

戻る

登録

Skip

- ① [表示名称] を設定します。
- 「IR 発光器」など機器名称を入力します。IR 発光器は機器登録一覧などに表示されます。
- ② 登録する機器にチェックを入れます。
- ③ [登録] を選択します。

識別番号	IR 発光器の DID (12 桁) が表示されます。 (本体裏面ラベルに記載)
------	---

登録が完了すると、[機器登録] 画面に戻ります。
続いて [IR 機器] を選択します。

4 [IR 機器] を登録する (IR 機器接続時のみ)

以下の項目を設定します。

IR機器 新規登録

操作を学習させるIR発光器を選択してください。
 操作名称を入力し、該当する機器カテゴリを選択してください。
 ON・OFFの操作を学習する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。
 学習開始ボタンを押すと、操作の学習が開始されます。

① 機器名称 登録済一覧

利用世帯

② 操作名称

③ 機器カテゴリ

④ ☒ ON・OFFを連続で登録

⑤ 戻る

⑧ 学習開始

⑨ テスト実行

⑩ 決定

Skip

① [機器名称] を設定します。

プルダウンボタンをクリックすると、IR 発光器が複数台登録されている場合は、登録されているIR 発光器の表示名称が表示されます。



ヒント

- ・[登録済一覧] を選択すると、すでに登録されているリモコンの一覧が表示されます。

登録済一覧 (ルームマスター1)

操作名称	機器カテゴリ	操作カテゴリ
コントローラ1	照明	任意
コントローラ2	照明	任意
コントローラ3	照明	任意
コントローラONOFF	照明	任意
照明ONOFF	照明	任意

② [操作名称] を設定します。

動作がわかりやすいように名称をつけます。

(例：「階段照明 オン/オフ」)

登録した名称は[お部屋の状況]や[機器別の状況]の家電利用などに表示されます。

③ [機器カテゴリ] をプルダウンメニューから選択します。

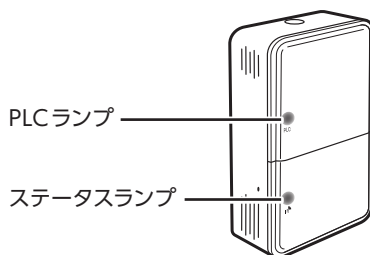
④ 登録するボタン動作に合わせて[ON・OFFを連続で登録]のチェックを設定します。

チェックする場合	● 照明全灯(ON)、消灯(OFF)などボタンが分かれているリモコンを登録するとき。 チェックを入れた場合、家電利用ページで以下のように操作ボタンが表示されます。 階段照明 ON OFF
チェックを外す場合	● テレビ用リモコンなど、電源のオンとオフを1つのスイッチで操作するリモコンの場合 ● リモコンの各スイッチを1つずつ登録する場合 チェックを外した場合、家電利用ページで以下のように操作ボタンが表示されます。 テレビ電源 実行 エアコン 冷房 実行

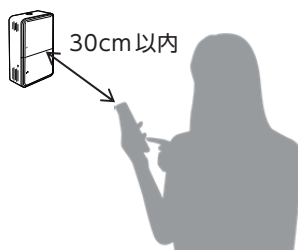
- ⑤ IR発光器のPLCランプが緑色に点灯していることを確認し、[学習開始]を選択します。

[学習]ダイアログボックスが表示され、IR発光器のステータスランプがオレンジ色に点灯します。

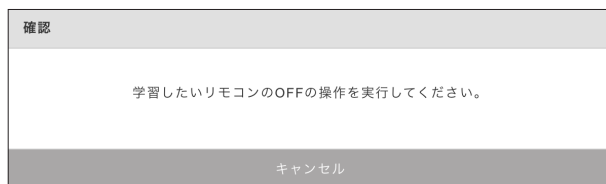
PLCランプが点灯していない場合は、ペアリングができていないことが考えられます。再度、ペアリングをおこなってください。



- ⑥ 登録するリモコンをIR発光器に向け、学習させたいボタンを押します。



- ④で[ON・OFFを連続で登録]にチェックを入れていると、1回目の「ON」操作の後、「OFF」の操作を要求されますので、同じように学習させたいボタンを押します。



- リモコンからの信号を受信すると、IR発光器のステータスランプが消灯します。受信しない場合は、ステータスランプが消灯するまで、長めにリモコンのボタンを押してください。

ただし、リモコンによっては長く押しすぎると、逆に登録ができないものがあります。この場合は、『学習に失敗しました。処理のタイムアウトか、リモコンのボタンを長く押しすぎたことが原因と考えられます。』とエラーポップアップ画面が表示されますので、2秒程度の長押しにとどめてください。

- エラーが表示された場合は、一度 [キャンセル] を選択したあと、再度 [学習開始] を選択してください。

- ⑦ 登録が成功すると、「操作内容を学習しました」と表示されますので、[OK] を選択します。



- ⑧ 動作を確認するため、[テスト実行] → [OK] の順に選択します。

正常に学習した動作がされていることを確認してください。

- 何度確認しても動作しない場合は、IR発光器が学習できないリモコン信号の可能性があります。

すべての機器の信号を学習できるわけではありませんので、ご了承ください。

- ⑨ [登録] → [OK] の順に選択して機器を登録します。

他のIR機器を登録する場合は、①～⑧を繰り返しておこないます。

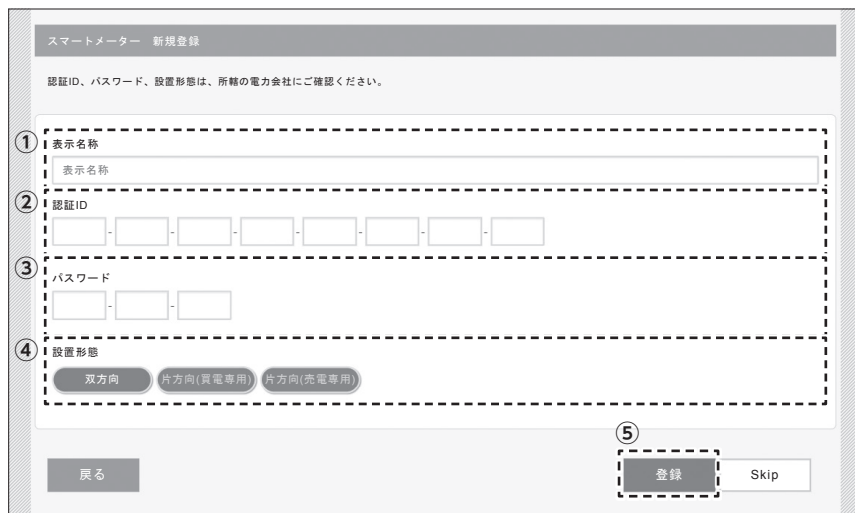
- ⑩ すべてのIR機器を登録したら、[決定] を選択します。

登録が完了すると、[機器登録]画面に戻ります。

続いて[スマートメーター]を選択します。

5 [スマートメーター]を登録する

以下の項目を設定します。



The image shows a registration form for a smart meter. At the top, it says 'スマートメーター 新規登録' (Smart Meter New Registration). Below that, a note states: '認証ID、パスワード、設置形態は、所轄の電力会社にご確認ください。' (Please confirm the authentication ID, password, and installation type with the local power company). The form contains five numbered sections: 1. '表示名称' (Display Name) with a text input field. 2. '認証ID' (Authentication ID) with a field divided into eight segments. 3. 'パスワード' (Password) with a field divided into three segments. 4. '設置形態' (Installation Type) with three radio button options: '双方向' (Two-way), '片方向(買電専用)' (One-way (Purchase electricity only)), and '片方向(売電専用)' (One-way (Sell electricity only)). 5. A '登録' (Register) button, which is highlighted with a dashed box and a circled '5'. There is also a 'Skip' button and a '戻る' (Back) button at the bottom left.

① [表示名称]を設定します。

ホームゲートウェイシステム上で表示する名称を入力します。

② [認証ID]を設定します。

③ [パスワード]を設定します。

④ [設置形態]を設定します。

設置形態は、[双方向]、[買電専用]、[売電専用]のいずれかを選択してください。

⑤ [登録]を選択して機器を登録します。

※ [認証ID]、[パスワード]、[設置形態]はお住いの地域の電力会社にご確認ください。

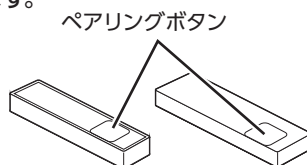
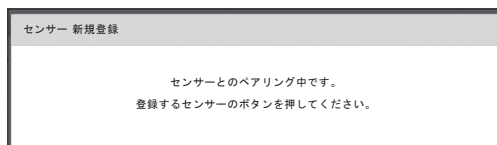
登録が完了すると、[機器登録]画面に戻ります。

続いて[センサー]を選択します。

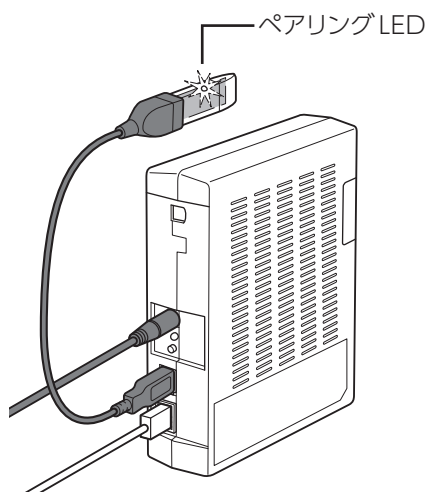
6 [センサー]を登録する (センサー接続時のみ)

[確認]画面が表示されますので、[実行]を選択し、以下の項目を設定します。

- ①「センサーとのペアリング中です。」と表示されたら、本製品の近くで30秒以内に登録するセンサーのペアリングボタンを押します。



ペアリングボタンを押すと、本製品に差し込んだセンサー受信用モジュール (USB dongle) のペアリングLEDが点灯します。



- 30秒以内であれば、複数のセンサーを同時に登録することができます。

お願い ・ペアリングLEDが1回点灯したら、続けてそれ以上同じセンサーのペアリングボタンを押さないでください。

- ② ペアリングが完了すると、確認ダイアログボックスが表示されますので、[完了]を選択します。

[センサー 新規登録] 画面が表示されます。

ID	センサーのID 番号です。
----	---------------

- ③ [表示名称] を設定します。
ホームゲートウェイシステム上で表示する名称を入力します。
登録した名称は[お部屋の状況]や[機器別の状況]などに表示されます。
- ④ 屋外センサーとして使用する場合は、[屋外温度センサー利用]にチェックを入れます。(温湿度センサーを屋外に設置した場合のみ)
- ⑤ 登録する機器にチェックを入れます。
- ⑥ [登録] を選択します。



ヒント

- ・ [表示名称] は設置場所や機器名称など、わかりやすい名称を設定します。
- ・ [屋外温度センサー利用] 欄のラジオボタンは、温湿度センサーを屋外に設置した場合のみチェックすることが可能です。
- ・ 同じセンサーが複数ある場合は、[ID] で識別してください。

確認ダイアログボックスが表示されたら[OK]を選択します。

登録が完了すると、[機器登録] 画面に戻ります。

- ⑦ 開閉センサー・温湿度センサーを各場所に設置します。
設置方法はそれぞれの取扱説明書を参照してください。

！ ご注意

- 開閉センサー、温湿度センサーはソーラー電池で動作しますので、明るい場所(照明点灯時400lx以上)に設置してください。
- 金属部への設置はなるべく避けてください。送信出力が低下する恐れがあります。
- 設置方法の詳細は、各センサーに付属している取扱説明書を参照してください。

4

すべての機器登録が完了したら、[機器登録]画面左下の[戻る]を選択します。

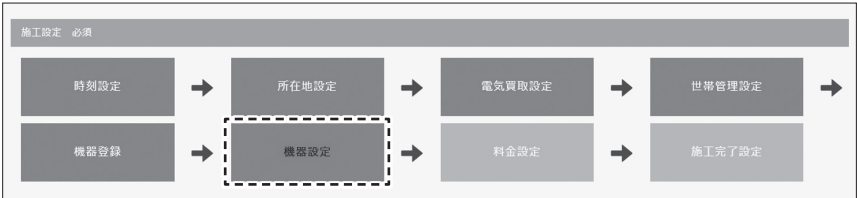


[施工設定]画面に戻ります。

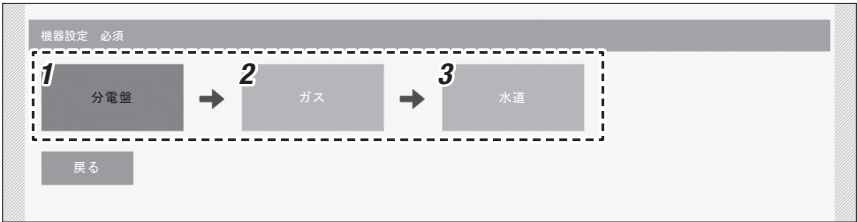
Step8 [機器設定] をする

本製品に登録されている各機器を設定します。

1 [施工設定] 画面の [機器設定] を選択します。



2 [機器設定] 画面が表示されますので、
各機器を順番に設定します。



1	[分電盤] を設定する	→ 55 ページ
2	[ガス] 機器を設定する	→ 59 ページ
3	[水道] 機器を設定する	→ 60 ページ

1 [分電盤]を設定する

① [施工者向け] を選択します。

識別番号		201808220031																		
利用世帯		世帯 1																		
施工者向け																				
設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定
100V	200V (自動)	100V (自動)	100V (自動)	100V	100V	100V (自動)	100V	100V	100V	100V	200V	100V (自動)	200V (自動)	100V (自動)	200V (自動)	200V (自動)	200V (自動)	100V (自動)	200V (自動)	100V
1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	27	29	31	33	35	37	39	
分 路 回 路 1	分 路 回 路 3	分 路 回 路 5	分 路 回 路 7	分 路 回 路 9	分 路 回 路 11	分 路 回 路 13	分 路 回 路 15	分 路 回 路 17	分 路 回 路 19	分 路 回 路 21	分 路 回 路 23	分 路 回 路 25	分 路 回 路 27	分 路 回 路 29	分 路 回 路 31	分 路 回 路 33	分 路 回 路 35	分 路 回 路 37	分 路 回 路 39	

② パスワード入力画面が表示されますので、施工者パスワード「0330」を入力し、「OK」を選択します。

パスワード入力

パスワードを入力してください。

パスワード

③ [施工者向け] ボタンの表示がなくなりますので、各回路の [設定] を選択し、設定をします。

分電盤 1																					
メーカー名		パナソニック株式会社																			
識別番号		201808220031																			
利用世帯		世帯 1																			
設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	
100V	(自動)	(自動)	(自動)	9	10	100V (自動)	100V	100V	100V	200V	(自動)	(自動)	(自動)	(自動)	(自動)	(自動)	(自動)	100V	100V		
1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	27	29	31	33	35	37	39		
分 路 回 路 1	分 路 回 路 3	分 路 回 路 5	分 路 回 路 7	分 路 回 路 9	分 路 回 路 11	分 路 回 路 13	分 路 回 路 15	分 路 回 路 17	分 路 回 路 19	分 路 回 路 21	分 路 回 路 23	分 路 回 路 25	分 路 回 路 27	分 路 回 路 29	分 路 回 路 31	分 路 回 路 33	分 路 回 路 35	分 路 回 路 37	分 路 回 路 39		
設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	
100V	200V (自動)	100V (自動)	100V (自動)	100V (自動)	100V (自動)	100V (自動)	100V (自動)	100V	100V	100V (自動)	100V (自動)	200V (自動)	100V (自動)	100V (自動)	100V	100V	200V (自動)	100V	100V	100V	
2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	41	
分 路 回 路 2	分 路 回 路 4	分 路 回 路 6	分 路 回 路 8	分 路 回 路 10	分 路 回 路 12	分 路 回 路 14	分 路 回 路 16	分 路 回 路 18	分 路 回 路 20	分 路 回 路 22	分 路 回 路 24	分 路 回 路 26	分 路 回 路 28	分 路 回 路 30	分 路 回 路 32	分 路 回 路 34	分 路 回 路 36	分 路 回 路 38	分 路 回 路 40	分 路 回 路 41	
																				燃料 電	
																				42	43



ヒント

「設定」ボタンの下に現在の設定および電圧の状態が表示されます。

- 100V、200Vは設定で選択した電圧を表示します。
- 「100V (自動)」、「200V (自動)」は設定が「自動」で、それぞれ検出した電圧を表示します。

設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定	設定
100V	200V (自動)	100V (自動)	100V (自動)	100V	100V	100V (自動)	100V	100V	100V	200V	100V (自動)	200V (自動)	100V (自動)	200V (自動)	200V (自動)	200V (自動)	100V (自動)	200V (自動)	100V
1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	27	29	31	33	35	37	39
分岐回路 1	分岐回路 3	分岐回路 5	分岐回路 7	分岐回路 9	分岐回路 11	分岐回路 13	分岐回路 15	分岐回路 17	分岐回路 19	分岐回路 21	分岐回路 23	分岐回路 25	分岐回路 27	分岐回路 29	分岐回路 31	分岐回路 33	分岐回路 35	分岐回路 37	分岐回路 39

特定回路で分岐回路として設定している箇所は、設定されている電圧が表示されます。

設定	設定	設定	設定
100V	200V (L1)	-	100V (L2)
39			
分岐回路 39	特定回路 1	特定回路 3	特定回路 7

●分岐回路の設定方法

分岐回路の「設定」をタップすると、「分岐設定」ダイアログボックスが表示されますので、各項目を設定し、「決定」を選択します。

「分岐計測設定」で「計測無し」を選択した場合は、電圧設定欄が「-」、分岐名欄は空欄になります。

<「分岐計測設定」に「通常計測」を選択している場合>

分岐設定

分岐計測設定

通常計測

特定計測

計測無し

電圧設定

100V

200V

自動

分岐カテゴリ

分岐名

分岐回路 1 5

キャンセル

決定

電圧設定	「100V」、「200V」、「自動」のいずれかを選択します。 「自動」の場合は分電盤の分岐ブレーカーの電圧に合わせて電圧を表示します。
分岐カテゴリ	プルダウンメニューから分岐カテゴリを選択します。
分岐名	分岐回路の表示名称を入力します。

<「分岐計測設定」に「特定計測」を選択している場合>

分岐計測設定

計測箇所指定

電圧設定

※特定計測は全て後勝ちの設定になります。既に同じ特定計測を設定している回路は「100V分岐計測」、特定回路は「計測なし」に設定されます。
 ※分岐回路で特定計測を選択した場合は、右側2分岐は「計測なし」になります。
 ※太陽光発電2と燃料電池はどちらか一方のみ設定可能です。

キャンセル 決定

計測箇所指定	「太陽光発電」、「燃料電池」、「蓄電池」のいずれかを設定できます。 - 特定計測はすべて後勝ちの設定になります。すでに同じ特定計測を設定している回路は、分岐回路の場合は「100V分岐計測」、特定回路は「計測なし」になります。 - 分岐回路で特定計測を選択した場合は、右側2分岐は「計測なし」になります。 「太陽光発電2」と「燃料電池」はどちらか一方のみ設定可能です。
電圧設定	「燃料電池」を選択した場合は、電圧設定(100V、200V)が表示されません。 機器に合わせた電圧を設定してください。

●特定回路の設定方法

特定回路の「設定」をタップすると「分岐設定」ダイアログボックスが表示されますので、各項目を設定し、「決定」を選択します。

「分岐計測設定」で「計測無し」を選択した場合は、電圧設定欄が「-」、分岐名欄は空欄になります。

<「特定計測設定」が「通常計測」の場合>

分岐計測設定

電圧設定

分岐カテゴリ

分岐名

※計測には特定CTが必要です

キャンセル 決定

電圧設定	「100V(L1)」、「200V(L2)」、「200V」のいずれかを選択します。 「自動」の場合は分電盤の分岐ブレーカーの電圧に合わせて電圧を表示します。
------	---

初期設定をする

分岐カテゴリ	プルダウンメニューから分岐カテゴリを選択します。
分岐名	分岐回路の表示名称を入力します。

<「分岐計測設定」に「特定計測」を選択している場合>

分岐設定

特定計測設定

通常計測

特定計測

計測無し

計測箇所指定

太陽光発電1

太陽光発電2

燃料電池

蓄電池

※特定計測は全て後勝ちの設定になります。既に同じ特定計測を設定している回路は「100V分岐計測」、特定回路は「計測無し」に設定されます。

※太陽光発電2と燃料電池はどちらか一方のみ設定可能です。

※計測には特定CTが必要です

キャンセル

決定

計測箇所指定	「太陽光発電」、「燃料電池」、「蓄電池」のいずれかを設定できます。 - 特定計測はすべて後勝ちの設定になります。すでに同じ特定計測を設定している回路は、分岐回路の場合は「100V分岐計測」、特定回路は「計測なし」になります。 「太陽光発電2」と「燃料電池」はどちらか一方のみ設定可能です。 - 計測には特定CTが必要です。
電圧設定	「燃料電池」を選択した場合は、電圧設定(100V(L1)、100V(L2)、200V)が表示されます。 機器に合わせた電圧を設定してください。



ヒント

燃料電池の電圧は以下のとおりです。
アイシン製：100V
パナソニック製：200V

④ すべての分岐を設定したら、[決定]を選択します。

回路6

回路8

回路10

回路12

回路14

回路16

戻る

決定

Skip

確認ダイアログボックスが表示されたら[OK]を選択します。

登録が完了すると、[機器設定]画面に戻ります。

2 [ガス]機器を設定する

プルダウンメニュー（「 1m^3 /パルス」、「 0.1m^3 /パルス」、「 0.01m^3 /パルス」、「 0.001m^3 /パルス」）から[パルスレート]を選択し、[決定]を選択します。
パルスレートは設定されているガスメーターのパルスレートに合わせます。

ガス設定

パルスレートを変更してから設定ボタンを押してください。

パルスレート 0.01m³/パルス

戻る 決定 Skip

確認ダイアログボックスが表示されたら[OK]を選択します。
登録が完了すると、[機器設定]画面に戻ります。



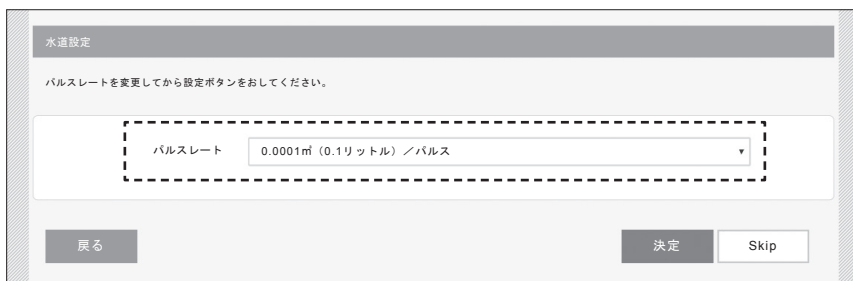
ヒント

- ・パルスレートはガスメーターを提供する会社（ガス会社など）に確認してください。

3 [水道]機器を設定する

プルダウンメニュー（「 1m^3 （1000リットル）／パルス」、「 0.1m^3 （100リットル）／パルス」、「 0.01m^3 （10リットル）／パルス」、「 0.001m^3 （1リットル）／パルス」、「 0.0001m^3 （0.1リットル）／パルス」）から[パルスレート]を選択し、[決定]を選択します。

水道センサーにアクアセンサーをお使いの方は、 0.0001m^3 ／パルス]を選択してください。

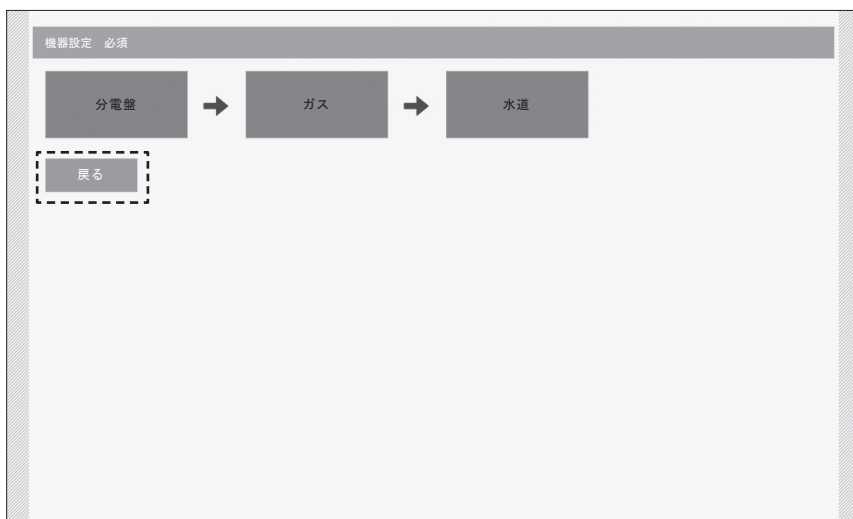


確認ダイアログボックスが表示されたら、[OK]を選択します。
登録が完了すると、[機器設定]画面に戻ります。

3

すべての機器設定が完了したら、
[機器設定]画面左下の[戻る]を選択します。

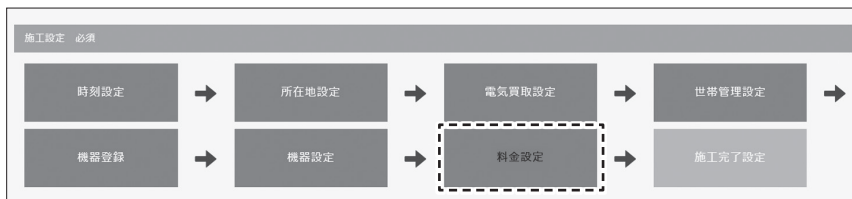
[施工設定]画面に戻ります。



Step9 [料金設定] をする

電気料金、ガス料金、水道料金、売電料金を設定します。

1 [施工設定 必須] 項目の[料金設定]を選択します。



2 [料金設定] 画面が表示されますので、 各料金を設定し、[決定]を選択します。

● 小数点以下は入力できません。整数で入力してください。

料金設定

契約アンペア設定

契約アンペア

未設定

電気料金設定

従量電灯

単価1kWh あたり

26

円

時間帯別電灯

時間帯	夏季	冬季	その他季
6 時 ~ 1 時	円	円	25 円
1 時 ~ 6 時	円	円	17 円
時 ~ 時	円	円	円
時 ~ 時	円	円	円
時 ~ 時	円	円	円
時 ~ 時	円	円	円

全削除

初期設定に戻す

初期設定をする

ガス料金設定

単価1m³あたり

0

円

水道料金設定

単価1m³あたり

0

円

売電料金設定

固定料金

単価1kWhあたり

0

円

買電料金単価に同じ

戻る

決定

！ ご注意

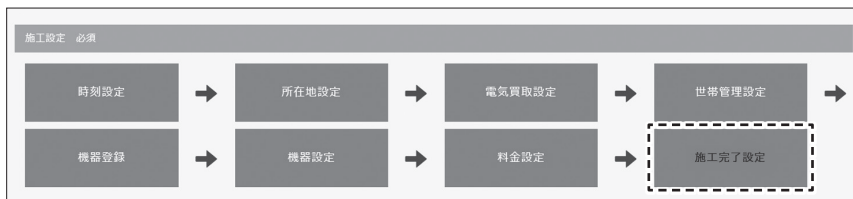
- 本製品で表示される料金は目安です。実際の料金とは異なります。
- 時間帯別電灯は電力支給会社のメニューに合わせます。なお[その他季]は必ず設定が必要です。

確認ダイアログボックスが表示されたら[OK]を選択します。
登録が完了すると、[施工設定]画面に戻ります。

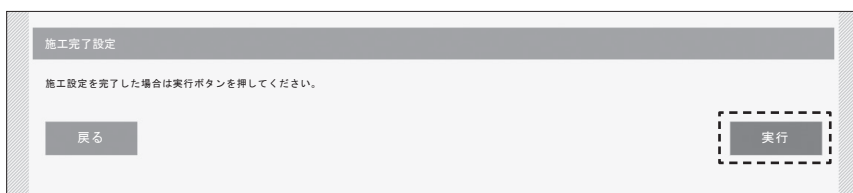
Step 10 [施工完了設定]をする

初期設定が完了したら[施工完了設定]を実行し、本製品を再起動します。

1 [施工設定 必須]項目の[施工完了設定]を選択します。

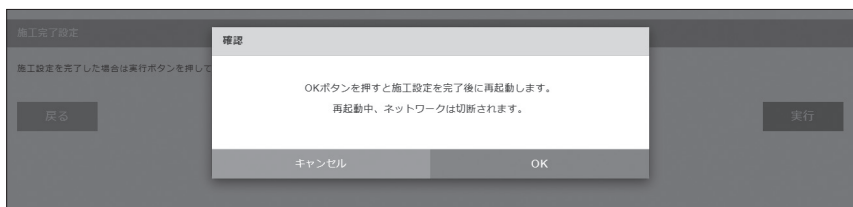


2 [施工完了設定]画面が表示されますので、 [実行]を選択します。



3 確認ダイアログボックスが表示されますので、 [OK]を選択し、ブラウザを閉じます。

本製品が自動で再起動します。再起動中は、ネットワークが切断されます。



- 4** 本製品が再起動し、PWR/ACTランプが点灯したら、Webブラウザのアドレスバーに「<http://192.168.33.254/>」と入力します。



! **ご注意**

- 周辺に一度接続したことがある無線LANルーターがあると、本製品が再起動している間に接続先が無線LANルーターに切り替わってしまうことがあります。

そのため、本製品の再起動が完了し、再接続する前にWi-Fi接続先が銘板に記載されているSSIDになっていることを確認してください。

- 5** ログイン画面が表示されますので、計測データの確認などで、グローバルモニターなどの画面を表示させる場合は、パスワードを入力して[ログイン]をタップします。



初期パスワード : password

※画面表示はお使いのOSや環境によって異なります。

※半角で入力してください。

- 6** パスワード変更を促すポップアップ画面が表示されますので、
[OK]をタップし、パスワードを設定して[決定]をタップします。

！ ご注意

- 変更したパスワードは施主にご連絡をお願いします。

確認

パスワードが変更されてい
ません。新しいパスワード
を設定してください。

OK

ログインパスワード設定

4～32文字で設定してください。
使用できる文字は「半角英数字」のみです。
「全角文字」「半角カナ」「記号」は使用できません。

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード(確認用)

キャンセル

決定

メニュー

＊ ホーム

。 設定

。 基本設定

時刻設定

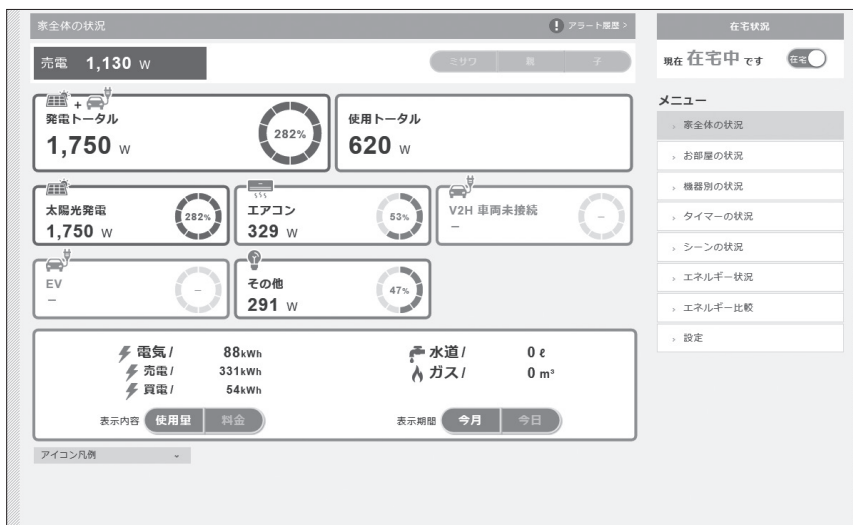
所在地設定

電気買取設定

ログインパスワード設定

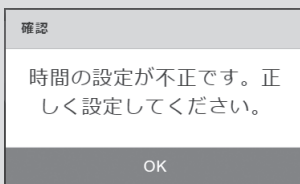
7 [グローバルモニター]画面が表示されることを確認します。

- 再起動から[グローバルモニター]画面に切り替わるまで数分かかります。



！ 重要

- 最初のログイン時に「時刻の設定が不正です」と表示された場合は、「OK」をクリックし、時刻を設定してください。(31ページ「Step 3 [時刻設定]をする」参照)



接続を確認する

接続を確認する

設定画面で適切に設定ができているか確認します。

Step 1 **【状態確認】画面を見る** → **68ページ**

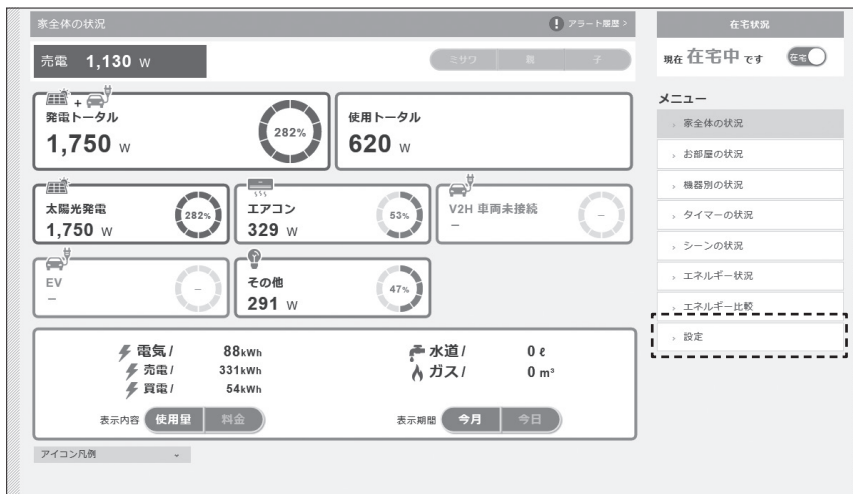


Step 2 **動作確認をする** → **71ページ**

Step 1 [状態確認] 画面を見る

本製品に接続されている各機器の接続状態を確認します。

1 [グローバルモニター] 画面の[メニュー]から[設定]を選択します。



- 2** [設定] 画面が表示されますので、
[メニュー] から [施工時モニター] を選択します。

設定	メニュー
バージョン情報 XXXXXXXX	ホーム
機器ID XXXXXXXX	設定
IPアドレス XXXXXXXX	基本設定
WPS [WPS]	ネットワーク設定
設定状態 サーバー接続設定状態 : 設定済 オーナー認証設定状態 : 設定済	サーバー接続設定
接続状態 サーバー接続状態 : 接続 インターネット接続状態 : 接続	オーナー認証設定
[キャンセル]	機器登録・削除
	機器設定
	エリア設定
	料金設定
	防犯アラート設定
	涼風制御設定
	シーン設定
	タイマー設定
	データ出力
	システム設定
	施工時モニター

- 3** 表示されるメニューから、
[通信状態確認] および [動作確認] を選択して、正常に接続されているか確認します。

設定	メニュー
バージョン情報 XXXXXXXX	ホーム
機器ID XXXXXXXX	設定
IPアドレス	施工時モニター
	通信状態確認
	動作確認

<[通信状態確認] 画面>

通信状態確認					メニュー
ECHONET Lite					- ホーム - 設定 - 施工時モニター
機器カテゴリ	表示名称	利用世帯	屋外温度センサー利用	メーカー（識別番号）	接続状態
エアコン	ダイキン	親	有	XXXXXXXXXX株式会社 (XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX)	接続
瞬間式給湯器	リンナイ 給湯器	親		XXXXXXXXXX株式会社 (XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX)	接続
V2H	V2H	親		XXXXXXXXXX株式会社 (XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX)	接続
エアコン	Fujitsu	子		XXXXXXXXXX株式会社 (XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX)	接続
				XXXXXXXXXX株式会社	

通信状態確認
動作確認

<[動作確認] 画面>

動作確認					メニュー
					- ホーム - 設定 - 施工時モニター
機器カテゴリ	表示名称（識別番号）	利用世帯	表示内容	値	
分電盤	分電盤	親	主幹電力	20W	
分岐回路	ダイキン	親	使用電力	102W	
分岐回路	分岐回路 3	親	使用電力	0W	
分岐回路	分岐回路 5	親	使用電力	0W	
分岐回路	富士通 エアコン	親	使用電力	143W	
分岐回路	分岐回路 7	親	使用電力	225W	
分岐回路	分岐回路 8	親	使用電力	0W	

通信状態確認
動作確認

！ ご注意

- エアコン、センサーなどは装置に記載されているMACアドレスや識別番号などによく照合し、正しく設置（名称登録など）してください。

👉 ヒント

センサーの動作が確認できなかった場合（通信ができない場合）は、付属のUSB延長ケーブルを使用して本体から離すようにし、通信が可能となるようにセンサー受信用モジュール（USB Dongle）の位置や角度を調整してください。開閉センサーがあれば、[動作確認] 画面（→70 ページ）を見ながら該当の開閉センサーを開閉させることで、通信が可能となる場所を簡単に探すことができます。

※使用環境や距離によっては通信できない場合がございます。

なお、センサー用中継器（レピーター）も別売りで用意しています。

レピーター EXT-REP（アイテック株式会社製）

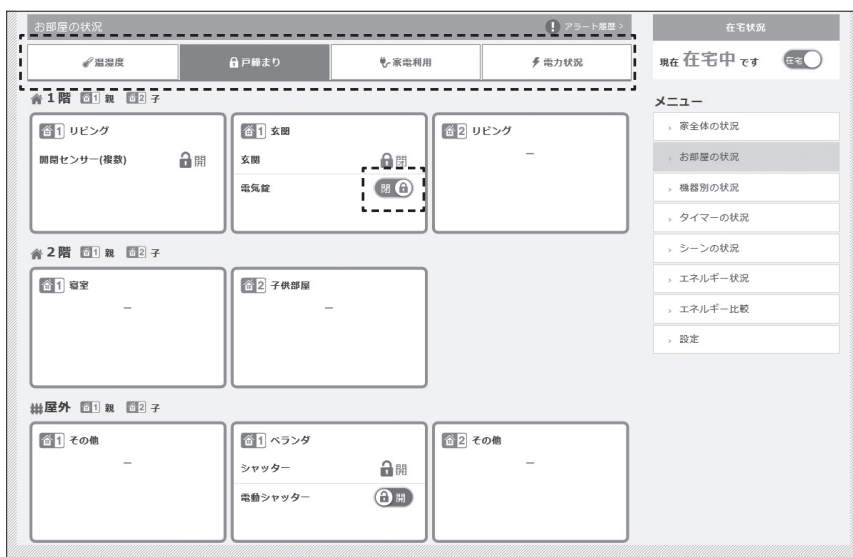
Step2 動作確認をする

本製品に接続されている連携機器の動作確認をおこないます。

1 [グローバルモニター]画面の[メニュー]から[機器別の状況]を選択します。



2 機器別のモニター画面が表示されますので、各タブページを開き、連携機器が正常に操作できるか確認します。



すべての機器が正常に動作すれば、初期設定は完了です。

必要に応じてエリア設定などをおこなってください。

→「取扱説明書 設定編」を参照

取扱説明書（設定編／操作編）は、Webで提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

https://www.osaki.co.jp/ja/product/dl_software.html

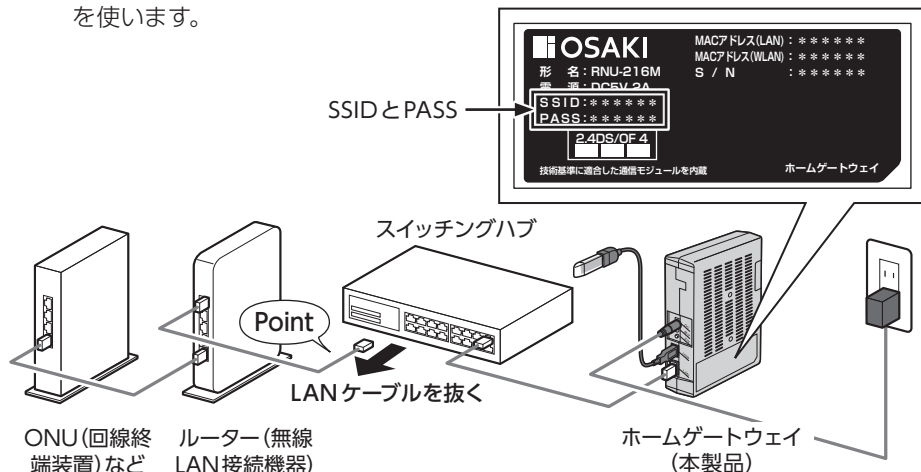


ルーターを設定する (ルーターをお持ちの場合)

※ 初期設定サポート(訪問設定)を利用する場合、この設定は設定業者がおこないます。

1 ルーター側のLANケーブルを抜いた状態で操作端末(スマートフォンまたはタブレット端末)のWiFi接続先をホームゲートウェイに設定します。

接続にはホームゲートウェイ本体の横面に記載している接続情報 (SSIDとPASS) を使います。



2 操作端末(スマートフォンまたはタブレット端末)のWebブラウザ(Microsoft Edge、Safari、Google Chromeなど)を起動し、画面上方のアドレスバーに「http://192.168.33.254/」(半角)を入力します。

3 ホームゲートウェイにアクセスしたらパスワードを入力し、ログインをタップします。

初期パスワード: **password** (半角)

→ トップ画面が表示されます。

ログイン

パスワードを入力し、ログインすることができます。

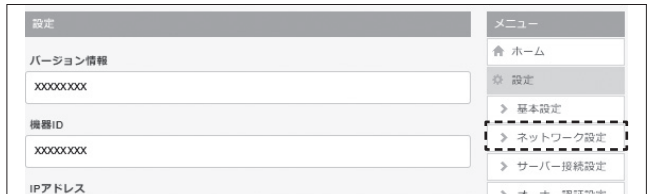
パスワード

ログイン

4 サイドメニューから[設定]を選択します。



5 設定画面が表示されますので、
サイドメニューの[ネットワーク設定]から[ネットワーク本体設定]を
選択します。



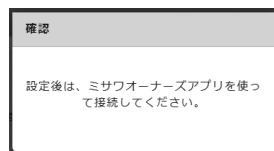
6 ネットワーク環境の選択画面が表示されるので、
[ルーターをお持ちの方]を選択します。
確認画面が表示されたら、[OK]を選択します。



7 ネットワーク本体設定画面が表示されますので、
[自動]を選択して[決定]を選択します。
確認画面が表示されたら、[OK]を選択します。



- 「ルーターをお持ちの方」を選択した場合は、以下のポップアップが表示されますので、アプリで設定してください。



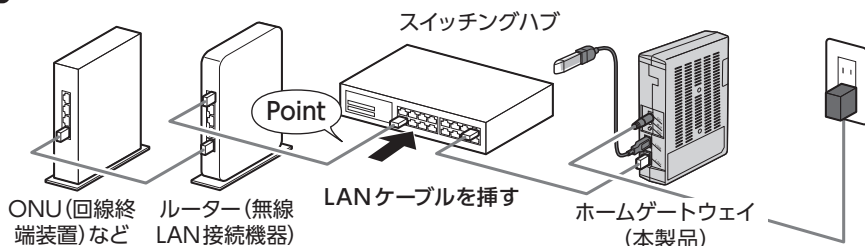
- ミサワホーム株式会社様ご提供のMOCアプリを使用すると操作が簡単です。
- ルーターを設置すると、IPアドレスが本書記載のものと異なるものに変更になる場合があります (DHCP 機能使用時)。
その場合は、ルーターの設定画面にアクセスし、本製品に割り当てられているIPアドレスを本製品のMACアドレス (→ 8 ページ) で照合して確認し、入力してください。(確認方法はルーターの取扱説明書を参照してください)

！ ご注意

- ・ IPアドレス取得のために再起動がかかります。一度LEDランプが全消灯した後、再度LEDランプが点灯します。再起動には数分かかります。
- ・ 少なくともPWR/ACT、WLANのランプが点灯した後、アクセスするようにお願いします。
- ・ 本設定によりPWR/ACTランプが点灯します。

8

1 で抜いたルーター側のLANケーブルを元に戻します。



！ ご注意

- ・ 再起動がかかるとIPアドレスを再取得するため、「設定後は、ミサワオーナーズアプリを使って接続してください。」のポップアップ表示から1分以内を目安にLANケーブルを元に戻してください。

エラーコード一覧

[エラー履歴表示]画面で表示されるコード番号に対応したエラーの内容です。

エラーコード

エラー履歴表示					メニュー
表示順序					ホーム
発生中 発生日時					設定
! 現在発生中のエラー					システム設定
発生日時	発生機器	コード	内容	表示名称	エラー履歴表示
18/03/23 17:49	HGW本体	a-112	ソフトウェア状態異常		初期化
18/03/23 15:27	太陽光発電	h-101	太陽光発電電力量計測なし	PV1	起動画面
18/03/22 15:30	エアコン	c-102	ECHONET Lite機器通信異常		ソフトウェアアップデート
18/03/27 15:30	IR発光器	e-101	IR発光器通信異常	ルームマスター	バックアップ
18/03/27 15:25	IR発光器	e-101	IR発光器通信異常	ルームマスター	リストア
18/03/27 14:53	IR発光器	e-101	IR発光器通信異常	ルームマスター	
18/03/27 14:30	IR発光器	e-101	IR発光器通信異常	ルームマスター	
18/03/27 14:17	開閉センサー	f-201	開閉センサー通信異常	玄関	
18/03/27 13:52	IR発光器	e-101	IR発光器通信異常	ルームマスター	
18/03/27 11:13	IR発光器	e-101	IR発光器通信異常	ルームマスター	

もっと見る...

! ご注意

- ホームゲートウェイ本体のリセットボタンは、10秒以上押すと、ネットワーク設定が初期化されますので、ご注意ください。

4秒以上9秒未満の長押し

再起動します。

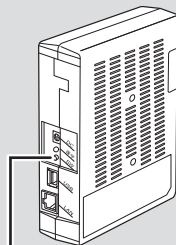
※ パスワードを初期化します。初期化後のパスワードは「password」になります。

10秒以上の長押し

本体のネットワーク設定を初期化の上、再起動します。(IPアドレスが固定(192.168.33.254)になります)

※ 初期化の認証用パスワードは「password」になります。

※ 再起動やネットワーク設定初期化操作後、再起動までに1～2分かかる場合があります。操作後しばらくお待ちください。



リセットボタン

エラーコード	対象機器名	内容	対処方法
a-101	ホームゲートウェイ本体	時刻異常	正しい時刻を設定してください。 (→31 ページ)
a-102		無線LAN モジュール異常	ホームゲートウェイ本体を下記のいずれかの方法で再起動してください。
a-103		Wi-SUN モジュール異常	- 本体背面のリセットボタンを4秒～9秒押し、再起動します（設定環境によっては、再び完全に起動するまで3分程度かかる場合があります）。 - AC アダプターを抜き差しする。 それでも状況が改善しない場合は、販売店にお問い合わせください。
a-104		有線LAN 未接続	LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
a-105		IPアドレス 未取得	宅内のブロードバンドルータとホームゲートウェイ本体が直接またはHUB 経由で接続されていることを確認してください。
a-106		センサー受信 モジュール 接続異常	受信用モジュールを挿しなおしてから、ホームゲートウェイ本体を下記のいずれかの方法で再起動してください。 - 本体背面のリセットボタンを4秒～9秒押し、再起動します（設定環境によっては、再び完全に起動するまで3分程度かかる場合があります）。 - AC アダプターを抜き差しする。 それでも状況が改善しない場合は、販売店にお問い合わせください。
a-107		ソフトウェア アップデート失敗	HGW が自動再起動しますので、再度実施してください。
a-108		リストア失敗	それでも失敗するようであれば、販売店にお問い合わせください。

エラーコード	対象機器名	内容	対処方法
a-109	ホームゲートウェイ本体	初期化失敗	ホームゲートウェイ本体を下記のいずれかの方法で再起動してください。 ・ 本体背面のリセットボタンを4秒～9秒押し、再起動します（設定環境によっては、再び完全に起動するまで3分程度かかる場合があります）。 ・ AC アダプターを抜き差しする。 それでも状況が改善しない場合は、販売店にお問い合わせください。
a-110		設定データ不正	ホームゲートウェイ本体を下記のいずれかの方法で再起動してください。 ・ 本体背面のリセットボタンを4秒～9秒押し、再起動します（設定環境によっては、再び完全に起動するまで3分程度かかる場合があります）。 ・ AC アダプターを抜き差しする。 それでも状況が改善しない場合は、完全初期化をおこなってください。 ※初期化するときは、必ずバックアップをしてください。 バックアップをしていないと、履歴データ、設定データが復元できなくなります。
a-111		履歴データ不正	ホームゲートウェイ本体を下記のいずれかの方法で再起動してください。 ・ 本体背面のリセットボタンを4秒～9秒押し、再起動します（設定環境によっては、再び完全に起動するまで3分程度かかる場合があります）。 ・ AC アダプターを抜き差しする。 それでも状況が改善しない場合は、データ初期化をおこなってください。 ※初期化するときは、必ずバックアップをしてください。 バックアップをしていないと、履歴データ、設定データが復元できなくなります。

エラーコード	対象機器名	内容	対処方法
a-112	ホームゲートウェイ本体	ソフトウェア状態異常	ホームゲートウェイ本体を下記のいずれかの方法で再起動してください。 - 本体背面のリセットボタンを4秒～9秒押し、再起動します（設定環境によっては、再び完全に起動するまで3分程度かかる場合があります）。 - AC アダプターを抜き差しする。 それでも状況が改善しない場合は、販売店にお問い合わせください。
b-101	HGWサーバー	ネットワーク異常	- 宅内のネットワーク機器から、インターネットに接続できるか確認してください。 - 宅内のブロードバンドルータとホームゲートウェイ本体が直接、またはHUB経由で接続されていることを確認してください。 確認後、同様のエラー表示が継続する場合は、販売店にお問い合わせください。
b-102			
b-201	Kinesisサーバー		
b-301	SQSサーバー		
b-302			
b-401	NTPサーバー	ネットワーク異常	- 宅内のネットワーク機器から、インターネットに接続できるか確認してください。 - 宅内のブロードバンドルータとホームゲートウェイ本体が直接、またはHUB経由で接続されていることを確認してください。 1日以上経過しても本エラーが表示される場合は、販売店にお問い合わせください。
b-501	気象サーバー		- 宅内のネットワーク機器から、インターネットに接続できるか確認してください。 - 宅内のブロードバンドルータとホームゲートウェイ本体が直接、またはHUB経由で接続されていることを確認してください。 確認後、同様のエラー表示が継続する場合は、販売店にお問い合わせください。
b-502			

エラーコード一覧

エラーコード	対象機器名	内容	対処方法
b-601	ソフトウェア アップデート サーバー	ネットワーク 異常	・ 宅内のネットワーク機器から、インターネットに接続できるか確認してください。 ・ 宅内のブロードバンドルータとホームゲートウェイ本体が直接、またはHUB 経由で接続されていることを確認してください。 しばらく様子をみてください。1週間以上経過しても本エラーが表示される場合は、販売店にお問い合わせください。
b-602			
b-603			
b-604			
c-101	ECHONET Lite	ECHONET Lite 機器通信異常 (分電盤/太陽光発電/蓄電池/燃料電池)	・ 宅内のブロードバンドルータと本体が直接、またはHUB 経由で接続されていることを確認してください。 ・ LAN ケーブルの抜き差しや、対象のECHONET Lite 機器の電源の入り切りをおこなってください。
c-102		ECHONET Lite 機器通信異常(上記以外)	
c-103		ECHONET Lite 機器異常あり	ECHONET Lite 機器の取扱説明書をご覧ください。正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、点検・修理をご依頼ください。
c-104		ECHONET Lite 機器制御失敗	宅内のブロードバンドルータと本体が直接、またはHUB 経由で接続されていることを確認してください。
c-201	JEM-A	JEM-A 機器通信異常	・ 宅内のブロードバンドルータと本体が直接、またはHUB 経由で接続されていることを確認してください。 ・ LAN ケーブルの抜き差しや、対象のJEM-A 機器の電源の入り切りをおこなってください。

エラーコード	対象機器名	内容	対処方法
c-202	JEM-A	JEM-A 機器異常あり	JEM-A 機器の取扱説明書をご覧ください。正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、点検・修理をご依頼ください。
c-203		JEM-A 機器宅内制御失敗	・ 宅内のブロードバンドルータと本体が直接、または HUB 経由で接続されていることを確認してください。 ・ LAN ケーブルの抜き差しや、対象の JEM-A 機器の電源の入り切りをおこなってください。
e-101	IR 発光器	IR 発光器通信異常	・ IR 発光器の PLC ランプが点灯しているか確認してください。消灯していた場合は、ペアリング操作を再度おこなってください。(→23 ページ) ・ IR 発光器が正しく設定されていることを確認してください。正しく設定されている場合、下記のいずれかをおこなってください。 - 設置場所変更による経路変更。 - 本製品と IR 発光器の間に中継器 (PLC アダプター) を追加設置する。
e-102		IR 機器制御失敗	・ IR 発光器の PLC ランプが点灯しているか確認してください。消灯していた場合は、ペアリング操作を再度おこなってください。(→23 ページ) ・ エラーが頻繁に発生する場合は、下記のいずれかをおこなってください。 - 設置場所変更による経路変更。 - 本製品と IR 発光器の間に中継器 (IR 発光器) を追加設置する。

エラーコード一覧

エラーコード	対象機器名	内容	対処方法
f-101	温湿度センサー	温湿度センサー通信異常	次のことに注意して位置を移動してください。
f-201	開閉センサー	開閉センサー通信異常	- 高い位置に設置する。 - 金属物の近くに設置しない。 - 本製品と温度センサーの間に中継器（レピーター）を追加設置する。 それでも状況が改善しない場合は、販売店にお問い合わせください。
g-101	涼風制御	涼風制御対象機器通信異常	涼風制御対象機器の取扱説明書をご覧ください。正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、点検・修理をご依頼ください。
g-102		涼風制御設定ファイル異常	① ホームゲートウェイ本体を下記のいずれかの方法で再起動してください。 - 本体背面のリセットボタンを4秒～9秒押し、再起動します（設定環境によっては、再び完全に起動するまで3分程度かかる場合があります）。 - AC アダプターを抜き差しする。 ② それでも問題が解決しない場合、「ご使用にあたっての注意事項」に記載されているアドレスから最新版ソフトウェアをPC でダウンロードし、設定編の操作方法でアップデートしてください。同一バージョンなどを含めアップデートできないメッセージが表示された場合、販売店にお問い合わせください。
g-201		涼風制御対象機器制御失敗（居室温度機器）	涼風制御が正しく設定されていることを確認してください。（取扱説明書 設定編 [涼風制御設定]）
g-202		涼風制御対象機器制御失敗（上部温度機器）	

エラーコード	対象機器名	内容	対処方法
g-203	涼風制御	涼風制御対象機器制御失敗 (外気温度機器)	同時に他のエラーコードが表示されているかを確認してください。 他エラーの処置をおこなっても状況が改善しない場合は、販売店にお問い合わせください。
h-101	太陽光発電	太陽光発電電力量計測なし	太陽光発電機器の発電状況を確認してください。(パワーコンディショナの正面に表示) 悪天候が続いた場合など、24時間以上発電されなかったときに、本エラーが表示される場合があります。 発電機器が発電しているにもかかわらず、本エラーが表示される場合は、24時間以上経過後に再度、エラーが表示されているか確認してください。 発電しているにもかかわらず本エラーが表示される場合は、販売店にお問い合わせください。
h-201	外部発電	外部発電電力量計測なし	各発電機器のモニターなどで発電状況を確認してください。 発電機器が発電しているにもかかわらず、本エラーが表示される場合は、24時間以上経過後に再度、エラーが表示されているか確認してください。 発電しているにもかかわらず本エラーが表示される場合は、販売店にお問い合わせください。

※ 表に記載のないエラーコードが表示された場合は、「ミサワホーム テクニカルサポートデスク」(裏表紙記載)にお問い合わせください。



トラブルシューティング

症状	[機器登録]画面で機器が表示されない。
対処方法	● 登録する機器の電源がオンになっているか、ケーブルが確実に差し込まれているかを確認してください。 ● 登録する機器の電源をオン/オフし、ケーブルを抜き差ししてください。

症状	URLを入力しても初期設定画面、またはグローバルモニター画面が表示されない。
対処方法	ルーターを設置している場合は、アドレスが本書記載のものとは異なる場合があります。 その場合は、ルーターの設定画面にアクセスし、本製品に割り当てられているIPアドレスを本製品のMACアドレス(→8ページ)で照合して確認し、入力してください。 (方法はルーターの取扱説明書を参照してください)

症状	機器登録ができない。
対処方法	接続されているECHONET Lite 機器、JEM-A 機器の電源を入り切りしてから再度登録を試してください。



仕様

ホームゲートウェイ

名称			ホームゲートウェイ	
形名			RNU-216M	
計測機能	計測 / 取得 / 表示※	積算 : Wh 瞬時 : W	太陽光発電	発電
			系統	売電、買電
			家全体	使用
			分岐回路 (41 回路)	使用
			特定CT (8 回路)	使用
			ガス発電	発電
			蓄電池	充電、放電
		積算 : m ³	ガス	使用
	積算 : L	水道	使用	
	計測・取得間隔		瞬時 : 10 秒周期 積算 (演算) : 1 分周期	
	サーバ送信間隔		30 分	
	データ蓄積 期間	積算 : Wh	30 分単位 (日報) : 7 ヶ月 (1 日毎のファイルで csv 出力可能)	
			1 日単位 (月報) : 120 ヶ月 (1 ヶ月毎のファイルで csv 出力可能)	
1 月単位 (年報) : 10 年 (1 年毎のファイルで csv 出力可能)				
その他		太陽光発電、蓄電池一体型装置に対応。 全量売電に対応。		
制御機能	ECHONET Lite		エアコン、エネファーム、床暖房、電気温水器、 ガス給湯器など	
	JEM-A		電動シャッター、電気錠	
	IR		エアコン、照明、トップライト、シーリングファンなど	
センサー			屋内・屋外温湿度、窓・ドアの開閉	
IF	有線 LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 1ch	
	無線 LAN		IEEE802.11b/g/n	
	Wi-SUN		実装	
	USB ポート		USB2.0 1 ポート (センサー受信用モジュール (USB ドングル) 専用)	
	JEM-A		JEM-A アダプター経由	
	IR		IR 発光器経由	

LED	PWR/ ACT	緑	点灯：OS起動後 点滅(早)：メモリ退避中(将来対応) 点滅(ゆっくり)：メモリ退避中完了(将来対応)
	ALM	赤	点灯：ハードまたはソフト異常 消灯：正常
	WLAN	緑	点灯：無線LAN接続時
	Wi-SUN	緑	点灯：接続(認証)時
	Sensor	緑	点灯：接続完了(1個以上) 点滅：センサーの数が減ったとき 消灯：センサーの登録がないとき
時計			停電時バックアップあり(満充電で約8時間)
電源			ACアダプター(AC90V～AC110V 50/60Hz共用)
環境条件			動作温度 0～40℃ 動作湿度 20～85%(結露しないこと)
外形寸法			幅100×奥行34×高さ169(単位:mm)(突起部は含まない) 幅100×奥行78×高さ173(単位:mm)(突起部を含む)
質量			本体：約300g

※ 積算値はkWh、瞬時値はkW(分岐回路と特定CTはW)で表示。

PLCアダプター

形名		DRTG-J530M
通信		HD-PLC / IEEE802.3
環境条件	温度	動作時：0～40℃
	湿度	20～80%(結露しないこと)
電源		AC100V(日本国内仕様)
外形寸法		幅62×奥行102×高さ27(単位:mm) (突起部は含まない)

IR発光器

形名		RNU-043
通信		無線(920MHz)帯、HD-PLC、赤外線
環境条件	温度	0～50℃
	湿度	5～80%(結露しないこと)
電源		AC90～240V 45～65Hz
外形寸法		幅80×奥行45×高さ130(単位:mm)

MEMO



商標について

- ECHONET、ECHONET Lite、ECHONETのロゴマークは、ECHONETコンソーシアムの商標です。
- HD-PLCとはパナソニック株式会社が提唱する高速電力線通信方式の名称です。HD-PLCは、パナソニック株式会社の日本、その他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Microsoft Edgeは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における商標または登録商標です。
- Google Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- iPhone、iPad、Safariは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ホームウォッチとそのシンボルマークは、大崎電気工業株式会社の登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

サポートセンター

ミサワホーム テクニカルサポートデスク

0120-602-070 受付時間：9:00～21:00（年中無休）

大崎電気工業株式会社

ソリューション事業部
事業統括部
エネルギーソリューション部

〒141-8646
東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア
電話(03)3443-7177 FAX(03)3443-0265

<https://www.osaki.co.jp/>